

# 日本気象学会 2009年度春季大会

会期：2009年5月28日（木）～31日（日）

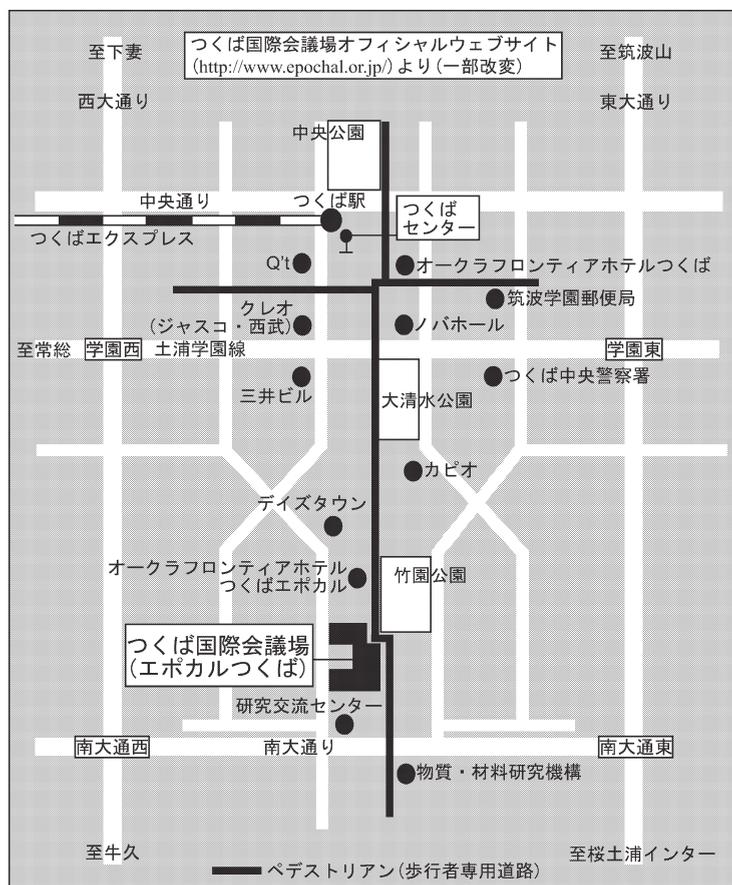
会場：つくば国際会議場（エポカルつくば：茨城県つくば市竹園2-20-3, <http://www.epochal.or.jp>)

大会実行委員会担当機関：筑波大学生命環境科学研究科，宇宙航空研究開発機構，国立環境研究所，産業技術総合研究所，農業環境技術研究所，防災科学技術研究所

大会委員長：林 陽生（筑波大学生命環境科学研究科）

当日の会場への連絡先：大会実行委員会事務局（つくば国際会議場小会議室404）  
TEL: 029-861-0610（直通：学会開催期間のみ有効）

## 会場案内図



## 交通の案内

- つくば駅・つくばセンターまで
- ・つくばエクスプレス (TX)：「つくば駅」行きに乗車，終点「つくば駅」下車。
- ・JR常磐線：「土浦駅」西口2番バス乗り場，「ひたち野うしく駅」東口1番バス乗り場より，「筑波大学中央」または「つくばセンター」行きバスに乘車，「つくばセンター」にて下車（ともに所要時間約25分）。
- ・高速バス：東京駅八重洲南口の高速バス5番のりばより，<つくば号>「筑波大学」または「つくばセンター」行きに乘車，「つくばセンター」にて下車（所要時間約65分）。羽田空港第1・第2各ターミナル1階到着ロビー13番のりばより，「つくばセンター」行きに乘車，終点「つくばセンター」にて下車（所要時間約80分）。
- つくば駅・つくばセンターからつくば国際会議場まで
- ・ペDESTリアンデッキ（歩行者専用道路）に昇り，直進（徒歩約10分）。

## 大会行事予定

A会場：大会議室101 (1F)

B会場：大会議室102 (1F)

C会場：中会議室406 (4F)

D会場：小会議室405 (4F)

ポスター会場：多目的ホール (1F)

総会・記念講演・シンポジウム：大ホール (1F)

企業展示会場：多目的ホール (1F)

受付：ロビー (1F)

大会事務局：小会議室404 (4F)

懇親会：大会議室101・102 (1F)

		A会場	B会場	C会場	D会場
5月 28日 (木)	10:00～ 11:30	気候システムI (7, A101～A107)	降水システムI (7, B101～B107)	エアロゾルI (8, C101～C108)	観測手法 (8, D101～D108)
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (42, P101～P142)			
	13:30～ 17:00	専門分科会 (16, A151～A166) 「グローバルな雲・降水システムの研究の現状と将来」	専門分科会 (14, B151～B164) 「2008年夏季の局地豪雨」	専門分科会 (12, C151～C162) 「民間航空機が拓く新しい大気観測とそのデータ利用」	専門分科会 (6, D151～D156) 「広域スケールの大気-陸域間の相互作用と気候変動」
5月 29日 (金)	09:30～ 11:30	熱帯大気 (9, A201～A209)	降水システムII (8, B201～B208)	大気境界層I (9, C201～C209)	エアロゾルII (10, D201～D210)
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (42, P201～P242)			
	13:30～ 15:20	総会			
	15:30～ 17:30	学会賞・藤原賞受賞記念講演			
	18:00～ 20:00	懇親会			
5月 30日 (土)	09:30～ 11:00	気候システムII (7, A301～A307)	降水システムIII (7, B301～B307)	気象予報 (8, C301～C308)	中層大気・対流圏界面 (6, D301～D306)
	11:00～ 12:00	ポスター・セッション (42, P301～P342)			
	13:00～ 16:30	シンポジウム「地球温暖化に関する科学的根拠の解明と脆弱性評価のさらなる連携に向けて」			
5月 31日 (日)	09:30～ 11:30	大気力学・中高緯度大気 (10, A401～A410)	降水システムIV (9, B401～B409)	大気境界層II (9, C401～C409)	台風 (9, D401～D409)
	11:30～ 12:30	ポスター・セッション (42, P401～P442)			
	13:30～ 17:00	公開気象講演会 「数値予報の過去・現在・未来」	専門分科会 (10, B451～B460) 「GPS気象学と衛星観測データの利用」	気候システムIII (16, C451～C466)	

発表件数：373件（専門分科会58，口頭発表147，ポスター168）

当大会予稿集に掲載された研究発表の文章・図表を複製あるいは翻訳して利用する場合には、日本気象学会の文書による利用許諾を得た上で出所明示して利用しなければなりません。ただし著作者自身による利用の場合は、利用許諾の申請は不要です。

本プログラムの記載内容に関する問い合わせは、〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1気象研究所予報研究部内 講演企画委員会 (e-mail:kouenkikaku2009s@mri-jma.go.jp) まで。

## 講演の方法

### 一般口頭発表・専門分科会

- ・ 一般口頭発表の講演1件あたりの持ち時間は11分（講演9分・質疑2分）です。
- ・ 専門分科会の各講演の持ち時間は分科会毎に決められています。詳細は各分科会のプログラムをご覧ください。
- ・ 講演にはPCプロジェクターとOHPが使用できます。
- ・ 止むを得ない事情で使用機器が講演申込時に予め届け出ていた機器と異なる場合は、セッション開始前までに座長と会場係にその旨を申し出て下さい。
- ・ PCプロジェクターを使用する際は予め以下の点をご了承ください。
  - ✓ パソコンは各自で準備して下さい。会場にはプロジェクターおよび接続ケーブルのみを準備します。
  - ✓ セッション開始前の休憩時間などを利用して、必ず接続の確認を行っておいて下さい。また接続が不安な場合は、セッション開始前に会場係に申し出て下さい。
  - ✓ 突然の故障や接続の際のトラブルが発生した場合、座長の判断で発表順の繰り下げなどの対応することが

あります。携帯用メディアによるバックアップファイルの準備など、トラブルへの備えは講演者自身で行って頂くようにお願いします。

### ポスター発表

- ・ 講演者はポスターに表題と著者名を明記して下さい。
- ・ ポスター発表の一人当たり使用可能面積は、縦210 cm×横90 cmとなっています。
- ・ ポスターを掲示する際には画鋲をお使い下さい（ガムテープ等はきれいに剥がせれば使用可能ですが、掲示面が布状なので接着しづらいかもしれません）。必要な画鋲等は講演者自身でご用意下さい。
- ・ ポスターの掲示可能時間は各日ともに9:30-16:30となっています。会場の都合上時間厳守をお願いします。
- ・ ポスター会場での機器の使用は講演申し込み時に申し出ていたもの以外は原則として認められません。
- ・ ポスター会場では電源は使用できません。

## シンポジウム「地球温暖化に関する科学的根拠の解明と脆弱性評価のさらなる連携に向けて」

日時：大会第3日（5月30日）13:00～16:30

会場：つくば国際会議場 大ホール

司会：林 陽生（筑波大学生命環境科学研究科）

### 趣旨：

2008年に京都議定書の第一約束期間がスタートし、地球温暖化の負の影響を緩和することが強く意識される時代になった。これまでに、気象要素の将来予測、さまざまな分野への影響評価と影響緩和策の検討、温室効果ガス濃度安定化レベルの検討と削減技術の開発などの研究が行われる中で、共通の問題として、不確実性の導入と予測精度の向上が重要であることが認識されるようになった。本シンポジウムではこうした動向を背景とし、「予測」と「評価」のさらなる連携をテーマに取り上げる。最近では、地球温暖化に関する文部科学省や環境省などの大規模プロジェクト研究が実施されて新しい知見が得られつつある。そこで、空間的に詳細な気候シナリオの特徴と影響評価への活用の新たな可能性や、生態系などへの影響評価の際における、気候値の時間的代表的性の考え方などについて議論を行うとともに、あわせて参加される方々の理解が深まることを期待して開催する。

### 基調講演：

- 1) 「影響評価に関する最近の成果と温暖化の危険な水準」  
三村信男（茨城大学／地球変動適応科学研究機関）
- 2) 「森林植物の分布を規定する気候要因の特定および気候変化に伴う生育地の移動予測」  
田中信行（森林総合研究所）
- 3) 「気候モデルの出力をどう使うか？」  
楠 昌司（気象研究所 気候研究部）
- 4) 「温暖化予測をいかに捉えるかーマルチ気候モデル比較によるアプローチー」  
高藪 緑（東京大学気候システム研究センター／海洋研究開発機構 地球環境観測研究センター）

### 総合討論

## 総 会

日時：大会第2日（5月29日）13:30～15:20

会場：つくば国際会議場 大ホール

### 議事次第

1. 開会
2. 議長選出
3. 理事長挨拶
4. 2009年度学会賞授与
5. 2009年度藤原賞授与
6. 議事
  - (1) 2008年度事業報告
  - (2) 2008年度収支決算報告
  - (3) 2008年度監査報告
  - (4) 理事の辞任に伴う後任の推薦について
  - (5) 地球惑星科学連合への団体会員としての加盟について
  - (6) 2009年度事業計画案
  - (7) 2009年度収支予算案
  - (8) その他
7. 議長解任
8. 閉会

## 専門分科会の概要紹介

2009年度春季大会では下記の通り、5件の専門分科会が開かれます。

### グローバルな雲・降水システムの研究の現状と将来

日時：大会第1日（5月28日）13:30～17:00

場所：A会場

**趣旨：**IPCC第4次報告書において、放射強制力における雲エアロゾルの影響や、温暖化の降水システムへの影響に不確定要素が大きいことが指摘されている。これらに対してTRMMの熱帯降雨の長期観測、AMSREの全球水循環観測、CloudSatの雲エアロゾル観測などがあり、個別には様々な成果が得られている。雲解像全球モデルの分解能向上により、衛星データの比較や同化が現実的となる一方で、モデル結果の検証には高分解能な衛星データが必須である。既存衛星のデータは着実に蓄積されつつあり、観測・解析と全球雲解像モデル等をあわせた、総合・横断的な研究を行う素地ができてきた。将来的にも、2013年頃にGCOM-W/C、EarthCARE、GPM等の衛星が揃い、観測の継続が見込まれる。そこで、本専門部会を通じて、これらの総合・横断的な研究発表により現状を俯瞰し、将来を展望する。さらに、その次の世代のミッションへの提言も集約したい。

**コンピーナー：**沖 理子（宇宙航空研究開発機構）、青梨和正（気象研究所）、中島映至（東京大学気候システム研究センター）、藤吉康志（北海道大学低温科学研究所）、佐藤正樹（東京大学気候システム研究センター）、井口俊夫（情報通信研究機構）

### 2008年夏季の局地豪雨

日時：大会第1日（5月28日）13:30～17:00

場所：B会場

**趣旨：**2008年夏季に頻発した局地豪雨は、各地に浸水害や土砂災害をもたらし、交通機関などにも深刻な影響が出た。神戸市灘区や東京都豊島区、愛知県岡崎市などでは、死者を伴う被害が発生し、「ゲリラ豪雨」などと報道され社会的にも大きな問題となった。局地豪雨は、一般に予測が困難とされているが、現在の技術水準からは、数値予報によるポテンシャル予測、ナウキャストによる実況把握、雲解像モデルによる積乱雲のシミュレーションについては、あ

る程度可能になっている。その一方で、防災情報につながる定量的な予測に関しては、多くの技術的課題が残っている。この分科会では、観測・解析・ナウキャスト・モデル・データ同化・アンサンブル予報・防災情報などについて局地豪雨に関する話題を募り、現時点での到達点を確認するとともに、将来的な局地豪雨予測の実現に向けてどのようなアプローチや研究者間の協力が必要か、について議論したい。

**コンピーナー：**斉藤和雄、石原正仁（気象研究所）、岩波 越（防災科学技術研究所）、川畑拓矢（気象研究所）

### 民間航空機が拓く新しい大気観測とそのデータ利用

日時：大会第1日（5月28日）13:30～17:00

場所：C会場

**趣旨：**民間航空機を大気観測に利用するには安全上の制約が大きいですが、コスト、観測領域、観測頻度などの面では非常に有効な観測プラットフォームである。日本では1970年代の終わりから東北大学が民間航空機による温室効果ガス観測を続けている。2005年末からは、日本航空の運航する大型旅客機を使ったCO<sub>2</sub>濃度の連続測定が実現し、これまでにない頻度で世界各地の鉛直分布や水平分布に関する膨大なデータが得られている。これらのデータは炭素循環の解明に貢献するばかりでなく、温室効果ガス観測衛星の検証データとしても極めて有用である。さらに、CO<sub>2</sub>データを大気輸送のトレーサとして解析することによって、気象学の分野への新たな活用も期待できる。本分科会では民間航空機の特徴を活かした観測研究について幅広く話題を募集し、観測手法、データ解析手法や解析結果について議論すると共に、新たなデータ利用の可能性についても意見を交わしたい。

**コンピーナー：**町田敏暢（国立環境研究所）、中澤高次（東北大学大学院理学研究科）、松枝秀和、澤 庸介（気象研究所）

### 広域スケールの大気-陸域間の相互作用と気候変動

日時：大会第1日（5月28日） 13:30～17:00

場所：D会場

**趣旨：**陸面の熱・水・物質交換は気候システムにおいて重要な役割を果たしており、近年の地球システムモデルでも必須のコンポーネントとなっている。しかし、生態系の複雑性や不均質性、人間活動による影響のため広域スケールの評価は難しく、予測の不確実性の一因になっている。衛星観測に代表されるモニタリング、フラックス観測などの現地観測、そしてモデリングによる統合的研究が必要である。本分科会では、陸域プロセスの熱収支や物質交換について、観測とモデル両面からの研究紹介の講演が行われる。最後の総合討論において、今後の方向性や新たな研究協力の可能性について議論を行う。

**コンピーナー：**伊藤昭彦（国立環境研究所）、馬淵和雄（気象研究所）

### GPS気象学と衛星観測データの利用

日時：大会第4日（5月31日） 13:30～17:00

場所：B会場

**趣旨：**前回の「GPS気象学」の専門分科会から7年が経ち、地上型GPS観測では、リアルタイム解析を用いた研究が始まり、気象庁では天頂遅延量が同化データとして現業利用されつつある。掩蔽型GPS観測でも、衛星6基からなるCOSMICが打ち上げられ、全球データベースや同化実験が行われるなど、「GPS気象学」は新しい展開を見せている。この時期に合わせ、「GPS気象学と衛星観測データの利用」というタイトルで専門分科会を開く。専門分科会では、NCARのKuol博士、GFZのWickert博士に基調講演をお願いして、GPSデータなどを用いた解析・同化実験等の応用についての世界の研究の動向を報告していただくとともに、日本からも招待した研究者や発表希望する研究者から、最新の成果を発表してもらって、情報・意見交換をおこない、今後の展望についての意見等を共有する。講演者には英語による講演、もしくはパワーポイントの英語化をお願いします。

**コンピーナー：**瀬古 弘、小司禎教（気象研究所）、市川隆一（情報通信研究機構）

## 公開気象講演会のお知らせ

※公開気象講演会への参加は無料・事前の申込も不要です。

日時：2009年5月31日（日）（大会第4日） 13:30～17:00

場所：つくば国際会議場 大会議室101（大会A会場）

主催：社団法人 日本気象学会 教育と普及委員会

数値予報開始50周年記念行事実行委員会

**趣旨：**日本における数値天気予報の現業運用は、2009年に開始から50周年を迎えることから、日本気象学会2009年度春季大会の開催に合わせて、「数値予報の過去・現在・未来」と題して一般の方々に向けた公開講演会を開催します。日本における数値予報の現業運用は、気象庁が当時最新鋭の電子計算機IBM704を導入し、1959年6月に開始しました。以来、数値予報はめざましい進化を続けて天気予報に欠かせない技術となり、今後も更なる発展が期待されます。今回の公開講演会では、数値予報に関わりの深い方々から、

数値予報の歴史と最新の技術、そして今後の数値予報への期待について、一般の方々にもわかりやすい内容でお話しさせていただきます。

**テーマおよび講演者：**

1. 「数値予報の歴史」  
元気象庁長官 新田 尚氏
2. 「最新の数値予報」  
気象庁数値予報課数値予報班長 小泉 耕氏
3. 「今後の数値予報への期待」  
東京大学気候システム研究センター教授 木本昌秀氏

**問い合わせ先：**経田正幸

TEL：03-3212-8341（内線3321，気象庁数値予報課内）

## 大気科学の将来展望と若手研究者問題に関する検討会のお知らせ

日時：2009年5月30日（土）（大会第3日） 17:00～20:00

場所：つくば国際会議場 大会議室101（大会A会場）

**趣旨：**日本気象学会と日本学術会議地球惑星科学委員会

IAMAS小委員会は共同で、近年深刻さを増している若手研究者に関する問題と将来展望を議論する会合を、春季大会に合わせて以下の通り開催します。会合ではまず、昨年3月に実施した若手研究者に関するアンケート調査の集計結果や多くの方々から寄せられた貴重なご意見、及びそれに基づく状況分析を主催者側からご紹介し、続いて、アンケート結果を若手研究者の立場から分析した結果を紹介して頂きます。こうした報告と分析を受けて、我々が

現在抱える諸問題について検討し、その解決に向けた方策や大気科学の将来展望などについて、参加者全員で議論したいと考えています。なお、会合のプログラムやアンケート調査結果とその分析については、大会前までに気象学会ホームページに掲載します。会合に参加して下さる皆さんには、事前にアンケート調査結果に目を通して頂けると当日の議論が盛り上がると思います。若手研究者や大学院生の皆さんからの積極的なご発言を期待しています。

**コンピーナー：**中島映至、中村 尚、青木周司、河村公隆、里村雄彦、中根英昭、村上正隆、遊馬芳雄

## 研究会のお知らせ

何れも参加は無料・事前の申込も不要ですので、興味のある方はご自由にご参加下さい。

### 惑星大気研究連絡会

日時：2009年5月27日（水）（大会前日） 13:30～18:00

場所：つくば国際会議場 中会議室406（大会C会場）

内容：日本の金星気象衛星 PLANET-C の打ち上げを来年にひかえ、科学的成果の最大化に向けた観測機器やデータ解析体制の準備が大詰めを迎えています。同時に、日本の次期惑星探査の候補として、周回衛星と着陸機で構成される火星ミッションの具体的検討が始まるなど、日本における惑星科学への感心が高まりつつあります。今春の惑星大気研究連絡会では、PLANET-C によって得られる観測データとその有効な利用方法、ミッションの「成功」に向けた国内外の研究協力体制の構築など、ミッションの具体的な内容について突っ込んだ議論を行う予定です。火星探査の実現に向けた、大気科学コミュニティとしての取り組みなどについてもあわせて議論したいと思います。講演および質疑応答には十分な時間を確保したいと思いますので、惑星大気の研究者はもちろん、初学者の皆様、惑星大気に興味をお持ちの幅広い分野の皆様のご参加をお待ちしております。研究会の詳しい内容については惑星大気研究連絡会ウェブページでお知らせ致しますので、下記 URL をご覧ください。

開催支援：惑星科学研究センター（CPS）/ 神戸大-北大 G-COE プログラム

世話人：高木征弘（東大理）、今村剛（JAXA宇宙科学研究本部）

連絡先：高木征弘（東大理）

TEL：03-5841-4285, FAX：03-5841-8791

E-mail：wtk-staff@gfd-dennou.org

URL：http://wtk.gfd-dennou.org/

### 極域・寒冷域研究連絡会

日時：2009年5月28日（木）（大会第1日） 18:00～2時間程度

場所：つくば国際会議場 中会議室406（大会C会場）

話題：海水を考えるー海洋と大気の熱交換ー

「海水～大気海洋系の白い黒幕～」

本田明治（JAMSTEC FRCGC）

「衛星データによる北極・南極での海水生産量・熱塩フラックスのマッピング」

田村岳史（北大低温研）

「海洋観測から見た北極海アラスカ沖での海水・高密度水形成」

伊東素代（JAMSTEC IORGC）

「海洋データ同化システムを用いた北太平洋底層昇温と南極沿岸海面フラックス変動に関する研究」

増田周平（JAMSTEC FRCGC）

「コメント：海水域の広域の熱フラックスの定量的見積もりについて」

川合義美（JAMSTEC IORGC）

内容：海水への関心が科学的にも社会的にもこれまでに大きく高まっています。温暖化予測実験を超えるスピードで

進行する夏季北極海の海水減少に目を奪われがちですが、海水の拡大期にあたる冬季の海水生成量の時間空間変動について改めて議論したいと思います。海面から大気への熱の移動に伴う海水の生成によって、気層液層間に固層が入る3層構造となり、大気海洋間の熱・運動量・物質の輸送は大きく変化することになります。熱交換の抑制は特に大気場へ影響を及ぼし、また海水生成に伴う塩分排出による高密度水の形成は海洋熱塩循環の駆動源になるなど、いくつかの新しいプロセスを生み出します。また、極域での温暖化は冬に顕著に現れるという将来予測を鑑みると、両極での海水生成量の経年変化や海洋への影響に関する知見は気候システムを理解する上で重要です。今回は、初めに大気-海洋系を中心に気候系における海水の役割・位置づけについて、続いて海水生成、高密度水形成、海洋熱塩循環への影響について衛星・観測・モデル研究に基づく最新の知見を3件、最後に海水域の熱フラックスの見積もりについて、5名の方々に話題提供をお願いしました。海水を通じて北極・南極での気候システムの俯瞰とその変動について議論したいと思います。

代表：山崎孝治（北大院地球環境）

世話人：平沢尚彦（極地研）、中村 尚（東大院理）、浮田甚郎（新潟大自然科学）、高田久美子（FRCGC）、阿部彩子（東大気候システム）、佐藤 薫（東大院理）、本田明治（FRCGC）、齋藤冬樹（FRCGC）、高谷康太郎（FRCGC）、猪上 淳（IORGC）

URL: [http://polaris.nipr.ac.jp/~pras/coolnet/el\\_index](http://polaris.nipr.ac.jp/~pras/coolnet/el_index)

問い合わせ先：猪上 淳（IORGC）

TEL：046-867-9483, FAX：046-867-9455

E-mail：jun.inoue@jamstec.go.jp

### 第6回統合的陸域圏研究連絡会

日時：2009年5月30日（土）（大会第3日） 18:00～20:00

場所：つくば国際会議場 小会議室403（4F）

内容：「統合的陸域圏研究連絡会」においては、陸面を中心とする大気境界層から土壌内に渡る陸域圏を主な研究対象とし、以下の目的により活動を行っています。

\* 陸域圏における物理的、生物的諸過程の理解に向けた、広い視野に立った研究のための情報交換、

\* 陸域圏を対象とした基礎的なメカニズムの理解と、他の圏との広域的・長期的相互作用システムの解明

\* 直接観測、間接観測、およびモデリングの融合

\* 空間的・時間的スケール間ギャップの問題の解決

\* 正確な現状の認識と、実質的に意味のある手法の開発

\* それらのための研究協力関係の構築

今回は熱帯域を対象とした研究を全体テーマとして、4名の招待講演者による講演を中心に研究会を開催いたします。

講演者および講演題目：

平野高司（北海道大学）

「熱帯泥炭林の炭素収支」

田中克典（地球環境フロンティア研究センター）

「熱帯域森林の蒸発散の季節変化」

蔵治光一郎（東京大学）

「アジア熱帯域における降水の時空間的変動の特徴と陸域過程」

小杉緑子（京都大学）

「陸域生態系モデルにおいて特に考慮すべき熱帯雨林のガス交換特性とは」

**世話人:** 馬淵和雄（気象研）、大谷義一（森林総研）、青木輝夫（気象研）、奈佐原（西田）顕郎（筑波大）、伊藤昭彦（環境研）、佐藤 永（FRCGC）、大石龍太（東大気候システム）

**代表連絡先:** 馬淵和雄（気象研）

TEL : 029-853-8732, FAX : 029-855-7240,

E-mail : kmabuchi@mri-jma.go.jp

### オゾン研究連絡会

**日時:** 2009年5月30日（土）（大会第3日）17:00～19:00

**場所:** つくば国際会議場 中会議室201B（2F）

**内容:** 2009年1月に温室効果ガス観測技術衛星「いぶき（GO SAT）」が打ち上げられました。今回は、「いぶき」に搭載されたTANSO センサの初取得データについて、JAXA などの方に速報的なお話をさせて頂く予定です。

**世話人:** 笠井康子（NICT）、川上修司（JAXA）、河本 望（RESTEC）、永島達也（環境研）、高島久洋（FRCGC）、村田 功（東北大院環境科学）

**連絡先:** 村田 功（東北大院環境科学）

TEL: 022-795-5776, FAX: 022-795-5775

E-mail: murata@pat.gp.tohoku.ac.jp

### 気象教育懇談会

**日時:** 2009年5月30日（土）（大会第3日）17:00～19:00

**場所:** つくば国際会議場 小会議室303（3F）

**テーマ:** 「地球温暖化をどう教えるか」

**講演者:** 伊藤公紀（横浜国立大学 工学研究院 教授）

江守正多（国立環境研究所 地球環境研究センター 温暖化リスク評価研究室長）

**内容:** 地球温暖化については、学校や日常生活の中で耳にする機会が多く、今日では小学生でもなじみ深い言葉となっています。しかし、そのしくみを科学的に理解せずに、短絡的で間違った理解をしている子供たちも数多く見られます。これは気候変動や地球温暖化問題の複雑なしくみを科学的に分かりやすく十分説明できていないということに原因があると考えられます。一方で、長期的な気候変動の原因や地球温暖化は、未だに解明されていない問題でもあり、確定した真実として教えることができないという難しさもあります。今回は、地球温暖化について様々な観点から発言されている研究者の方から話題提供していただき、科学的に分かりやすく教育するためにはどのような視点が必要なのか、また、未解明な点を多く含む地球温暖化をどのように教育していけばよいのかについて、意見交換したいと思います。教育関係者に限らず、幅広い皆様のご参加をお待ちしております。

**問い合わせ先:** 教育と普及委員会 担当 畠山正恒（聖光学院 中学高等学校） E-mail : hatakeya@hotmail.com

## 大会期間中の保育支援について

大会実行委員会では、大会期間中の保育施設として、下記2件を紹介致します。

#### (1) チャイルド・クラブ・パンセ

〒305-0051 茨城県つくば市二の宮1-21-3 グランドパレスNS-1 102号室

TEL : 029-861-1500, FAX : 029-861-1700

URL : <http://www.e-tsukuba.jp/childclub/>

#### (2) チャイルドランドつくば

〒305-0051 茨城県つくば市二の宮3-2-11 平田ビル3F

TEL : 0120-38-8373, 029-849-2020

URL : <http://www.e-tsukuba.jp/child/>

これらの施設、及びその他保育施設の利用にかかる費用を一部補助致します。保育支援を希望される方は、2009年5月8日（金）までに下記担当者までご連絡下さい。また、それ以降の問い合わせにもできる限り対応致します。

**連絡先:** 足立幸穂（筑波大学生命環境科学研究科）

E-mail : sachihoa@geoenv.tsukuba.ac.jp, TEL : 029-853-5692

## 秋季大会の予告

2009年度秋季大会は、2009年11月25日（水）～27日（金）にアクロス福岡で開催される予定です。

## 大会第1日〔5月28日(木)〕 10:00~11:30 一般口頭発表

### A 会場

#### 気候システムI

座長：萱場 互起（気象庁気候情報）

- A101 力石 國男（弘前大理工） 夏期の日最高気温上昇傾向の地域的差異とその原因
- A102 藤部 文昭（気象研） 都市気温とその経年変化率の曜日依存性
- A103 萱場 互起（気象庁気候情報） 都市気候モデルで用いる人工排熱データの推定及びそれを用いたシミュレーションの試み
- A104 大橋 唯太（岡山理大総合情報） 暑熱環境指数WBGTの長期計測から熱中症リスクをみる－岡山市街地を対象として－
- A105 山内 明子（伊豆研） LFD 異常と海洋環境変異の独立性検定について－伊豆半島周辺を例として－
- A106 鈴木 香寿恵（極地研） 南極氷床への大気輸送経路の年々変動とAAOとの関係
- A107 猪上 淳（IORGC） 再解析データにおける北極漂流ブイデータのインパクト

### B 会場

#### 降水システムI

座長：中井 専人（防災科研）

- B101 中井 専人（防災科研） 長岡周辺の降雪予測実験とレーダー・地上観測の比較：2008年2月の事例
- B102 大東 忠保（名大地球水循環） 山陰から北陸に伸びる発達した停滞性降雪バンド
- B103 川島 正行（北大低温研） 寒冷前線降雨帯のコア-ギャップ構造の成因に関する数値実験（3）
- B104 田畑 弾（日大院地球） 栃木県において2008年5月26日に発生した降雪
- B105 吉川 栄一（阪大院工） Ku帯広帯域レーダを用いた低高度における降水分布の解析
- B106 廣川 康隆（気象庁予報） 2007年11月11-12日に青森県で発生した大雨～その1：発生要因について
- B107 奥 勇一郎（京大防災研） 格子点データを用いた極端気象現象事例の抽出方法

## 大会第1日〔5月28日（木）〕 10:00~11:30 一般口頭発表

### C 会場

#### エアロゾル

座長：黒崎 泰典（鳥取大乾燥地研究センター）

- C101 平沢 尚彦（極地研） 南極域におけるエアロゾル数濃度の空間分布
- C102 長田 和雄（名大院環境） 立山・室堂平におけるエアロゾル粒子体積濃度の年々変化：微細粒子濃度の春季増加傾向
- C103 張 代洲（熊本県立大環境共生） 北京市におけるエアロゾルの係留気球観測事例
- C104 上田 紗也子（名大院環境） 辺戸岬で観測されたスス粒子の混合状態と粒径分布
- C105 石塚 正秀（香川大工） 砂礫砂漠と休耕農地における飛砂飛散粒子の臨界摩擦速度
- C106 黒崎 泰典（鳥大乾地研） モンゴルにおける黄砂発生臨界風速－synoptic dataを用いた解析－
- C107 篠田 雅人（乾地研） モンゴル草原における黄砂発生の生物物理過程－2008年集中観測速報－
- C108 三上 正男（気象研） モンゴル草原における黄砂発生の生物物理過程－2008年長期観測速報－

### D 会場

#### 観測手法

座長：篠田 太郎（名大地球水循環）

- D101 牛尾 知雄（阪大院工） 高速高分解能Ku帯広帯域レーダネットワークの概念と初期観測結果
- D102 山内 洋（気象研） 気象研究所Cバンド固体素子二重偏波ドップラーレーダー
- D103 篠田 太郎（名大地球水循環） 降水セルの発達段階を客観的に判別するアルゴリズムの開発
- D104 山田 芳則（気象大） 連続の式または質量フラックス保存の式を束縛条件としてRHIデータから鉛直面内の風場を算出する方法（その2） --- 変分法による内挿処理とスプライン微分の導入 ---
- D105 岩井 宏徳（NICT） デュアルドップラーライダーとヘリコプターにより観測された風速場の比較
- D106 今城 勝治（三菱電機） 1.6 $\mu$ m帯CW変調CO<sub>2</sub>モニタDIAL地上検証モデルの開発
- D107 内野 修（国環研） カラム平均CO<sub>2</sub>混合比（XCO<sub>2</sub>）の全球での振る舞いについて
- D108 萩原 雄一朗（東北大院理大気海洋センター） CloudSat/CALIPSO/MODISから得られた高度別雲量の比較

## 大会第1日〔5月28日(木)〕 13:30~17:00 専門分科会

### A 会場

#### 「グローバルな雲・降水システムの研究の現状と将来」

座長：青梨 和正（気象研）

趣旨説明：沖 理子（JAXA/EORC）

- \*A151 久保田 拓志（JAXA/EORC） 複数衛星からの全球降水マップGSMaPでのセンサ複合利用：現状と今後の課題
- \*A152 青梨 和正（気象研） GCOM-Wとマイクロ波降水強度リトリーバルアルゴリズムの開発
- \*A153 大野 裕一（NICT） EarthCARE衛星による雲・エアロゾル・放射観測
- \*A154 笠井 康子（NICT） テラヘルツ波リモートセンシングによる水蒸気と氷雲の観測
- \*A155 山中 大学（JAMSTEC-IORGC/神大理） HARIMAUレーダー・プロファイラ網の完成
- \*A156 平沢 尚彦（極地研） 南極ドームふじ基地における雲・降水の観測と数値モデリング

#### 休憩

- \*A157 山本 宗尚（千葉大CEReS） TRMMデータを用いた降水を伴わない雲の抽出と統計解析
- \*A158 古澤 文江（名大地球水循環） TRMM観測と長期再解析JRA-25データによる無降水域の地表面射出率の特性：GPM降水推定への応用に向けて
- \*A159 高薮 緑（東大気候システム） 熱帯海上降雨の2モード非断熱加熱構造について
- \*A160 岡本 創（東北大院理） CloudSat/CALIPSOによる氷粒子微物理特性の全球解析
- A161 高橋 暢宏（NICT） post-GPMミッション検討について
- \*A162 佐藤 正樹（東大気候システム/FRCGC） 全球雲解像モデルと雲・降水衛星観測との連携、赤道周回衛星の提案
- A163 牛尾 知雄（阪大院工） 地球静止軌道からのレーダ観測
- A164 重 尚一（大阪府大院工） 小型衛星搭載降雨レーダのシステム検討
- A165 中村 健治（名大地球水循環） 雲降水システムの構造の観測のためのTrain型衛星システム
- \*A166 Jana Mendrok（NICT） Sub-Millimeter Wave Radiometer for Observation of Cloud Ice - Studying Retrieval Capabilities from 2-band Instrument

座長：沖 理子（JAXA/EORC）・高橋 暢宏（NICT）

#### 総合討論

※\*の講演は持ち時間12分、その他の講演の持ち時間は7分です。

## 大会第1日〔5月28日（木）〕 13:30～17:00 専門分科会

### B 会場

#### 「2008年夏季の局地豪雨」

座長：岩波 越（防災科研）

- B151 岩崎 博之（群馬大教育） AMeDASデータを用いた強雨の経年変化の解析 --- 山岳と強雨増加の関係 ---
- B152 小司 禎教（気象研） GPS可降水量と降水の統計的關係
- B153 中山 秀晃（気象予報士会） 予報士情報とWeb2.0を活用した局地豪雨対策への試み
- B154 齋藤 仁（首都大院） 土壌雨量指数を用いた平成20年8月末豪雨の解析－東京都八王子市の事例－
- B155 高橋 日出男（首都大地理） 2008年8月5日の東京都区部短時間強雨時における地上風の発散量時間変化
- B156 真木 雅之（防災科研） 2008年8月5日東京都豊島区雑司が谷付近で発生した局地的豪雨－Xバンドマルチパラメータレーダによる観測結果－
- B157 石原 正仁（気象研） 気象庁現業レーダーによる局地的大雨の監視の現状と展望

#### 休憩

座長：川畑 拓矢（気象研）

- B158 日下 博幸（筑波大計算科学） 都市が降水におよぼす影響－評価手法に関する現状と課題－
- B159 斉藤 和雄（気象研） 2008年夏季の日本域アンサンブル予報実験
- B160 津口 裕茂（気象庁数値予報） 2008年7月28日の兵庫県の大雨 ～MSMの予測失敗の原因～
- B161 瀬古 弘（気象研） LETKFを用いた日本域の豪雨再現実験
- B162 竹見 哲也（京大防災研） 高分解能地形表現による局所的強雨のモデル解析：2008年7月28日兵庫県南部豪雨の事例
- B163 氏家 将志（気象庁数値予報） 高分解能局地モデルによる夏季の局地的豪雨の予測
- B164 川畑 拓矢（気象研） 豊島区雑司が谷豪雨に関するデータ同化実験

座長：斉藤 和雄・石原 正仁（気象研）

#### 総合討論

※各講演の持ち時間は12分です。

## 大会第1日〔5月28日（木）〕 13:30～17:00 専門分科会

### C 会場

#### 「民間航空機が拓く新しい大気観測とそのデータ利用」

座長：松枝 秀和（気象研）

趣旨説明：町田 敏暢（環境研）

- C151 Kaz Higuchi (York Univ.) The Importance and Usefulness of Tropospheric Measurements in Enhancing Our Understanding of the Global Carbon Cycle [招待講演]
- C152 中澤 高清（東北大院理） 民間定期航空機を利用した温室効果気体の観測 [招待講演]
- C153 町田 敏暢（環境研） CONTRAILプロジェクトの概要と観測されたCO<sub>2</sub>濃度の時空間分布
- C154 澤 庸介（気象研） 定期旅客便観測データを利用した圏界面付近のCO<sub>2</sub>動態の解析

#### 休憩

座長：澤 庸介（気象研）

- C155 丹羽 洋介（東大気候システム） 上部対流圏におけるCO<sub>2</sub>濃度の緯度別変動
- C156 梅澤 拓（東北大院理） 定期航空機と船舶による西太平洋対流圏におけるメタン濃度と炭素/水素安定同位体比の観測
- C157 石島 健太郎（FRCGC） 地表－上部対流圏における大気中一酸化二窒素濃度の季節変動～ 航空機観測およびモデル計算結果の解析 ～
- C158 八代 尚（FRCGC） 日本上空における大気中一酸化炭素および水素濃度の変動：航空機による観測とモデルによる再現

#### 休憩

座長：町田 敏暢（環境研）

- C159 丹羽 洋介（東大気候システム） CONTRAIL Transport Model Intercomparison: CO<sub>2</sub>濃度の高度別変動
- C160 Prabir Patra (FRCGC) CONTRAIL Transport Model Intercomparison: Simulation of CO<sub>2</sub> concentration in the UT/LS region
- C161 眞木 貴史（気象庁環境気象） 輸送モデルにおける鉛直輸送過程の評価検証について
- C162 田口 彰一（産総研） CONTRAILデータを用いた週単位CO<sub>2</sub>フラックスの推定

※各講演の持ち時間は15分です。

## 大会第1日〔5月28日(木)〕 13:30~17:00 専門分科会

### D 会場

#### 「広域スケールの大気-陸域間の相互作用と気候変動」

座長：馬淵 和雄（気象研）

趣旨説明：伊藤 昭彦（環境研）

- \*D151 浅沼 順（筑波大陸域環境） モンゴル半乾燥域における陸面プロセスの観測とモデル研究 【招待講演】
- D152 中野 智子（首都大都市環境） モンゴル半乾燥草原におけるCO<sub>2</sub>交換の時空間分布推定に向けて
- D153 庭野 匡思（気象研） 札幌における冬季雪面熱収支

#### 休憩

座長：伊藤 昭彦（環境研）

- D154 馬淵 和雄（気象研） B A I M 2 を導入した全球気候モデルにより再現された陸域炭素収支の季節変化の特徴
- D155 伊勢 武史（FRCGC） サブグリッドスケールの地表の多様性を広域生態系モデルで扱う：北方林におけるケーススタディ
- D156 市井 和仁（福島大理工） 陸域生物圏モデル相互比較への試み: Japan-MIPからAsia-MIPへ

#### 総合討論

※\*の講演は招待講演で持ち時間30分、その他の講演の持ち時間は20分です。

## 大会第2日〔5月29日（金）〕 9:30～11:30 一般口頭発表

### A 会場

#### 熱帯大気

座長：佐藤 正樹（東大気候システム）

- A201 那須野 智江（FRCGC） 全球非静力学水惑星数値実験における雲内鉛直流
- A202 黒田 徹（気象研） ミャンマーサイクロンNargisと高潮の数値シミュレーション（2）アンサンブル予報実験
- A203 荒金 匠（東大気候システム） 台風0616に生じた爆発的対流に関する数値的研究
- A204 山田 広幸（IORGC） 台風0806号（Fengshen）の発生過程に関する観測と数値実験
- A205 村田 昭彦（気象研） 高解像度非静力学モデルによる台風0815号の発生過程の解析
- A206 吉野 純（岐阜大院工） 現在・将来気候における伊勢湾の可能最大高潮・波浪の評価
- A207 星野 俊介（気象研） Rapid Scanによる詳細大気追跡風データの台風解析への利用（序報）
- A208 上野 充（気象研） 環境風の鉛直シアーと台風コア域内地上風分布
- A209 吉崎 正憲（IORGC） マッデン・ジュリアン振動の発現メカニズム

### B 会場

#### 降水システムII

座長：楠 研一（気象研）

- B201 楠 研一（気象研） 2007年12月5日庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱
- B202 益子 渉（気象研） 2008年1月25日 庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱（I）—数値シミュレーションによる解析（序報）—
- B203 楠 研一（気象研） 2008年1月25日庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱（II）—渦の特徴—
- B204 別所 康太郎（気象研） 突風環境下における高層ゾンデ連続観測 —概要—
- B205 谷脇 和博（高知大理） 庄内平野における突風の条件付抽出と統計解析
- B206 小林 文明（防大地球） 2008年12月5日寒冷前線通過時に横浜で発生した竜巻
- B207 鈴木 修（気象研） 2007,2008年の竜巻等突風の発生の特徴—気象庁データベースを用いた速報解析—
- B208 下瀬 健一（九大院理） 現実場を用いた竜巻発生の数値シミュレーション Part I：竜巻の発生過程

## 大会第2日〔5月29日（金）〕 9:30～11:30 一般口頭発表

### C 会場

#### 大気境界層I

座長：児玉 安正（弘前大院理工）

- C201 石 睿（愛媛大院理工） Numerical simulation of Sea/Land breeze in western Seto Inland Sea
- C202 牛山 朋来（農環研） 防風ネットによるとうもろこし交雑抑制効果の数値シミュレーション
- C203 大野 洋（京大防災研） 自然対流時に生じる下層の微細渦の強化・維持メカニズムの解析
- C204 岩井 宏徳（NICT） 東京都市域における海風前線の立体構造（2）
- C205 佐藤 晋介（NICT） 400MHz帯WPR/RASSによる冬季沖縄の大気境界層の観測
- C206 藤原 忠誠（北大院環境科学） ドップラーライダーで検出したDust devilの特徴
- C207 伊藤 純至（東大海洋研） 対流混合層内に生成される鉛直渦度のスケーリング
- C208 児玉 安正（弘前大院理工） 三陸沖で観測されたヤマセの鉛直構造とヤマセの流跡線の関係
- C209 山野 満男（防大地球海洋） 上空への顕熱輸送に対する都市内気流構造の役割

### D 会場

#### エアロゾルII

座長：兼保 直樹（産総研）

- D201 鶴田 治雄（東大気候システム） ピマイ（タイ）における大気エアロゾルの化学組成と光学特性
- D202 兼保 直樹（産総研） TSIおよびRadiance積分型ネフェロメータによる粗大粒子の観測
- D203 青木 輝夫（気象研） フィルタ上エアロゾルサンプルの複素屈折率虚数部の測定
- D204 大島 長（東大先端研） エアロゾル光学特性・雲凝結核特性とブラックカーボンの粒径分布との関係
- D205 直江 寛明（気象研） 大気煤粒子の混合状態とその光吸収特性に及ぼす影響について
- D206 石元 裕史（気象研） 放射計算のためのスス粒子モデルの作成
- D207 梶野 瑞王（東大先端研） エアロゾルの化学組成、粒径分布、混合状態、形状を考慮した対流圏マルチスケール化学輸送モデルEMTACSの開発
- D208 松井 仁志（東大院理） 3次元モデルを用いた北京周辺域におけるエアロゾルの光学特性の変動過程に関する研究
- D209 須藤 健悟（名大院環境） MAX-DOAS観測を用いた全球化学・エアロゾル気候モデルの評価
- D210 及川 栄治（東大気候システム） CALIPSOデータおよびGCMシミュレーションによる曇天域のエアロゾル直接効果に関する研究

## 大会第3日〔5月30日（土）〕 9:30～11:00 一般口頭発表

### A 会場

#### 気候システムII

座長：金田 幸恵（AESTO/気象研）

- A301 二宮 洸三（FRCGC） 5～7月のメイユ・梅雨前線降水帯の再現性についてのモデル相互比較 [OHP 使用予定]
- A302 楠 昌司（気象研） 20km格子全球大気モデルによる近未来の梅雨変化
- A303 金田 幸恵（AESTO/気象研） 水平解像度5km/2km非静力学モデルによる領域温暖化予測実験 全球大気モデル実験を境界値に用いた予備実験：NHM5kmからNHM2kmへ
- A304 市川 裕樹（名大院環境） CMIP3マルチモデルにおける熱帯対流活動に伴う雲の放射影響力の再現性
- A305 西井 和晃（東大院理） CMIP3マルチ気候モデルにおける冬季極東域ストームトラック活動の再現性およびその春一番の発生日との関係
- A306 大島 和裕（北大地球環境） CMIP3気候モデルにおける北太平洋10年規模変動の将来予測
- A307 塩竈 秀夫（国環研） 降水量変化予測と水資源影響評価の排出シナリオ依存性

### B 会場

#### 降水システムIII

座長：加藤 輝之（気象研）

- B301 川畑 拓矢（気象研） RASS観測データを用いた沖縄本島における小規模降水帯の同化・予報実験
- B302 竹見 哲也（京大防災研） スコールラインの強度に及ぼす浮力プロファイルの影響
- B303 加藤 輝之（気象研） 下層水蒸気場を表現する高度について～気圧面から絶対高度の気象学へ～
- B304 加藤 輝之（気象研） SiBを用いた2005年度冬季の積雪量予想実験
- B305 渡邊 明（福島大理工） 降雪システムの水蒸気量依存性
- B306 藤井 聡（気象予報士会） 東京の「雪型」についての考察
- B307 加藤 順子（気象予報士会） 気象鑑定の現状と課題 - 『御殿場事件』の裁判を通して見た課題 -

## 大会第3日〔5月30日(土)〕 9:30~11:00 一般口頭発表

### C 会場

#### 気象予報

座長：小森 拓也（気象庁数値予報）

- C301 宮本 健吾（AESTO/気象庁数値予報） 気象庁全球大気モデルの再構築
- C302 小森 拓也（気象庁数値予報） 台風周辺で求まる特異ベクトルの特性調査 ～T-PARCにおける台風特別観測の事例解析～
- C303 國井 勝（気象研） メソ特異ベクトル法を用いた感度解析
- C304 松枝 未遠（AESTO/MRI） 現業中期アンサンブル予報におけるブロッキング現象の予測可能性
- C305 三好 建正（メリーランド大大気海洋） SPEEDYモデルを使った並列LETKFプログラムの開発
- C306 田中 博（筑波大CCS） カルマンフィルタを用いた順圧Sモデルのバイアス補正
- C307 青梨 和正（気象研） マイクロ波輝度温度の非静力雲解像モデルへの同化のためのNeighboring Ensemble法
- C308 伊藤 耕介（京大院理） 台風状況下の海面フラックス：感度実験とアジョイント法による推定

### D 会場

#### 中層大気・対流圏界面

座長：鈴木 順子（IORGC）

- D301 西本 絵梨子（京大生存研） モンスーン時期の対流活動と関係した対流圏界面付近における温度構造
- D302 妻鹿 友昭（京大生存研） 赤道大気レーダーによる熱帯対流圏界面の高解像度乱流観測
- D303 鈴木 順子（IORGC） 熱帯上部対流圏から対流圏界面領域の高度ごとにみた赤道ケルビン波の出現から消失の特徴
- D304 西村 八代（総研大） オゾンゾンデ観測データによる極域対流圏界面と対流圏界面逆転層の研究
- D305 中島 英彰（環境研） 南極昭和基地における2007年オゾン破壊量とPSCの関係（2）
- D306 富川 喜弘（極地研） 中間圏一日潮汐波による運動量輸送

## 大会第4日〔5月31日（日）〕 9:30～11:30 一般口頭発表

### A 会場

#### 大気力学・中高緯度大気

座長：堀田 大介（気象庁数値予報）

- A401 齊藤 洋一（元東大海洋研） 水平粘性を考慮した臨界層不安定
- A402 森川 靖大（北大院理） 階層的数値モデルのためのデータ入出力ライブラリ Gtool5 の設計と開発
- A403 池田 恒平（東大気候システム） 金星大気放射伝達モデルの開発
- A404 高木 征弘（東大院理） 金星大気の放射伝達モデルの開発（2）
- A405 山下 達也（北大院理） 大気主成分の凝結を考慮した二次元湿潤対流の基礎的数値実験
- A406 遊馬 芳雄（琉球大理） Winter T-PARC概要紹介（速報）
- A407 堀田 大介（気象庁数値予報） 全球モデルの陸面過程の変更に対する大気場の力学的応答～ストームトラックを介した遠隔影響の可能性について～
- A408 稲津 将（北大院理） 北半球冬季の北東アジアにおけるスケール間相互作用研究（2） 亜総観規模山岳の効果
- A409 山崎 哲（九大院理） ブロッキングの持続メカニズムに関する観測的・数値的研究
- A410 土屋 主税（東大院理） 全球非静力学モデルデータを用いた広帯域周波数スペクトルの普遍性の研究

### B 会場

#### 降水システムIV

座長：山下 克也（気象研）

- B401 村上 正隆（気象研） 暖候期四国上空における雲・エアロゾル特性（その1）
- B402 山下 克也（気象研） 人工降雨シーディング用吸湿性粒子の雲凝結核特性（その2）
- B403 田尻 拓也（気象研） MRI雲生成チェンバーによる吸湿性シーディング実験（その3）～ フレアー法～
- B404 小池 克征（いであ（株）） 山岳の風下側の降雪分布に関する一考察
- B405 伊ヶ崎 英雄（気象協会） 人工降雨実験観測データを用いた人工降雨有効雲の定性的判定法の試み
- B406 橋本 明弘（気象研） 雲シーディングのための各種散布物質の有効性評価
- B407 山田 芳則（気象大） ひょうをもたらした積乱雲の内部構造に関するドップラーレーダー解析
- B408 中野 藤之（阪大院工） 非静力学モデル（NHM）により予報された雲微物理量を用いた雷放電予測モデルの構築
- B409 吉川 友章（東京理科大理） 特定波長の赤外線照射による霧粒の挙動と消霧システムへの応用【OHP使用予定】

## 大会第4日〔5月31日(日)〕 9:30~11:30 一般口頭発表

### C 会場

#### 大気境界層II

座長：寺尾 徹（香川大教育）

- C401 重田 祥範（岡大院自然科学） 大規模緑地で発生するクールアイランド現象 -大阪城公園-
- C402 重田 祥範（岡大院自然科学） 夏季晴天日に都市中心部で発生するクールアイランド現象-地上気象観測と上空からの熱赤外面像による解析-
- C403 高橋 一之（都環科研／首都大都市環境） 夏季における東京都区部の風系とヒートアイランド現象との関係第3報）—静力学平衡を仮定して補正した夜間の気圧分布—
- C404 飯澤 功（京都堀川高校） 都市の熱慣性が決定するヒートアイランド循環の時間発展
- C405 大西 将徳（京大院人間環境） 日食時の気温変化と都市と郊外の熱慣性
- C406 酒井 敏（京大院人間環境） 樹冠遮断蒸発とフラクタル次元
- C407 中村 美紀（京大院人間環境） フラクタル人工樹木の実験結果
- C408 大橋 唯太（岡山理大総合情報） 広島県三次盆地で発生する大規模霧
- C409 寺尾 徹（香川大教育） やまじ風に付随して発生する風の乱れ現象の定量的評価

### D 会場

#### 台風

座長：和田 章義（気象研）

- D401 山下 浩史（気象庁数値予報） 2008年台風第13号の特別観測データを使用した気象庁全球モデルによるインパクト実験の評価（第1報）
- D402 太田 洋一郎（気象庁数値予報） 2008年台風第15号の特別観測データを使用した気象庁全球モデルによるインパクト実験の評価
- D403 杉 正人（気象研） 解像度の異なるモデルによる台風の発生過程のシミュレーション
- D404 山岬 正紀（FRCGC） 大規模渦に伴う台風の発生に関する数値実験（東風の効果）
- D405 筆保 弘徳（IPRC） 全球非静力モデルで再現された台風発生メカニズム
- D406 和田 章義（気象研） 台風発達期における台風Hai-Tang（2005）と海洋との相互作用
- D407 日置 智仁（名大地球水循環） 雲解像モデルで再現された発達する台風の暖気核の形成プロセス
- D408 吉田 健二（九大院理） 梅雨期における九州地方の大雨事例に対する台風の遠隔影響
- D409 出世 ゆかり（名大地球水循環） 台風0704号におけるCOBRA偏波パラメータと降水粒子分布特性

## 大会第4日〔5月31日（日）〕 13:30～17:00 専門分科会

### B 会場

#### 「GPS気象学と衛星観測データの利用」

座長：小司 禎教（気象研）

趣旨説明：瀬古 弘（気象研）

\*\*B451 Ying-Hwa Kuo (UCAR) Applications of COSMIC GPS RO data to weather, climate, and ionosphere and the planning of COSMIC-II [招待講演]

\*\*B452 Jens Wickert (GFZ) GPS Radio Occultation: Introduction, Results from CHAMP and Recent Developments [招待講演]

#### 休憩

座長：市川 隆一（NICT）

\*B453 小司 禎教（気象研） 日本型「GPS気象学」の進展 [招待講演]

B454 西 憲敬（京大院理） COSMIC掩蔽法を用いた熱帯対流圏の成層構造解析

B455 小澤 英司（気象庁数値予報） 気象庁全球実験システムによるGPS掩蔽観測同化実験

B456 國井 勝（気象研） Mesoscale Data Assimilation Experiment in Low Latitudes with GPS RO data

#### 休憩

座長：瀬古 弘（気象研）

B457 林 稔（Hitz） GPS連続観測システムの概要と気象研究への展開

B458 吉本 浩一（気象庁） GPS可降水量を用いたインデックスの開発

B459 市川 隆一（NICT） 気象庁メソスケール客観解析データによる大気遅延除去のための高速計算ツールの開発

B460 Thomas Hobiger（NICT） Numerical Weather Models for the Correction of Troposphere Delays of Space Geodetic Techniques - Prerequisites and Applications

ポスター講演（講演は大会第4日〔5月31日（日）〕のポスター・セッションにて行われます）

P441 津田 敏隆（京大生存研） Retrieval of High Vertical Resolution Atmospheric Profiles from GPS Radio Occultation Measurements

P442 瀬古 弘（気象研） Data assimilation experiments of 'YAMASE' using GPS RO data

※\*\*の講演は持ち時間40分、\*の講演は持ち時間20分、その他の講演の持ち時間は12分です。

## 大会第4日〔5月31日（日）〕 13:30～17:00 一般口頭発表

### C 会場

#### 気候システムIII

座長：渡部 雅浩（東大気候システム）

- C451 坂下 幸嗣（東北大院環境） 北半球冬季気温における1980年代後半のレジーム・シフト
- C452 立花 義裕（三重大/JAMSTEC） 日本の降雪の長期変動に及ぼす、中緯度海洋とSiberian-Japan pattern 双方の影響
- C453 廣田 渚郎（東大気候システム） 夏季東アジア域に見られる3極気候偏差の形成プロセスに関する研究
- C454 三瓶 岳昭（ハワイ大IPRC） 大規模場の力学から見た梅雨前線の形成について
- C455 渡部 雅浩（東大気候システム） 夏季アジアジェット上に見られる卓越変動の強制過程：NLBMを用いた数値実験
- C456 谷貝 勇（気象大） 太平洋数十年規模振動（PDO）の影響を受ける日本の夏期について
- C457 山島 亮二（首都大都市環境） 1700年から1850年にかけて進行した耕地化がアジアモンスーンの開始・終了に及ぼした影響
- C458 栗原 和夫（気象研） JMA-NHMによるインドの強雨の再現可能性
- C459 谷田貝 亜紀代（地球研） ヒマラヤ山脈周辺の降水量の定量評価
- C460 海田 俊輝（岩手県大ソフト） 2変数ベクトル自己回帰分析によるインドネシア・マルク地区農業収穫量予測モデル
- C461 宗本 政紀（三重大生資） サヘルの降水量を増加に転じさせた全球SSTの南北両半球間のダイポール

座長：村上 茂教（FRCGC）

- C462 足立 恭将（気象研） 海面表層スキームの全球大気モデルへの導入とそのインパクト実験
- C463 吉村 裕正（気象研） エントレイメント率に幅を持たせたセミラグランジュ積雲スキーム
- C464 中塚 武（名大院環境） 樹木年輪の酸素同位体比を用いたオホーツク高気圧の経年変動の復元
- C465 吉森 正和（東大気候システム） 放射カーネルを用いた気候フィードバック解析について
- C466 村上 茂教（FRCGC） 氷期気候系のエネルギー論・その2

## 大会第1日 [ 5月28日 (木) ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

[ キーワード:物質循環システム・大気境界層・気象予報・環境気象 他 ]

- P101 間瀬 博文 放射線と磁場を捉えた、竜巻・積乱雲を再現した室内実験
- P102 平松 章男 (北陸先端大知識) 異常天候早期警戒情報を利用した提供商品の意思決定について
- P103 大門 禎広 (気象予報士会) 青空の放射温度
- P104 金久 博忠 (気象大)  $g$ と $f$ が鈍角をなす場合の対称不安定
- P105 近藤 圭一 (筑波大院生命環境) 順圧S-model-LETKFによる局所化の影響調査
- P106 高橋 桂子 (JAMSTEC) MSSGへの適応型動的格子(AMR)の実装と計算性能
- P107 大泉 三津夫 (気象研) 地域気候モデルとしてのJMANHMの可変地表面被覆のインパクト
- P108 寺崎 康児 (筑波大院生命環境) スペクトル空間で見る次世代大気モデルNICAMの特徴
- P109 森 和広 (筑波大学自然学類) 気象庁全球 $\eta$ 面ガウス解析値を用いたNICAMによる週間予報実験
- P110 田中 博 (筑波大CCS) 筑波大学CCSに移植したNICAMによる北極低気圧の数値実験
- P111 野中 善政 (宮崎大教文) 局所風況予測システム (LAWEPS) を利用した海塩濃度シミュレーションについて
- P112 門倉 真二 (電中研) 統計的手法による気象要素の確率密度推定—九州の豪雨—
- P113 猪上 華子 (気象研) 2007年12月31日 庄内平野に突風をもたらした気象じょう乱
- P114 渡辺 貴典 (首都大都市環境) 阿蘇山周辺の風向がまっぼり風発生に与える影響に関する数値解析
- P115 五十嵐 咲恵 (防衛大地球海洋) 冬季東北部太平洋側における強風の出現特性
- P116 柴田 有紀子 (富山大理) 盛夏季の北陸地方で発生するフェーンの特徴と大規模循環場の影響について
- P117 沢田 雅洋 (東北大院理) 蔵王おろしに伴った非定常な風の場合に関する数値実験
- P118 清野 直子 (気象研) 気象庁屋上における放射収支観測
- P119 中川 清隆 (立正大地球環境) ダブルトランシット法によって決定されるパイバル高度の特徴
- P120 稲垣 厚至 (東工大) 接地境界層における組織乱流の平均構造
- P121 藤原 忠誠 (北大院環境科学) 海風前線に発生したDust devilのドップラーライダー観測
- P122 瀬戸 芳一 (首都大院都市環境) 収束・発散場から見た関東平野における夏季の局地風循環
- P123 佐野 亜都子 (岡山理大院総合情報) 大阪湾からの海風侵入に伴う奈良盆地の昇温について
- P124 小田 僚子 (東工大院理工) 東京湾の海表面温度変化が都市気温に及ぼす影響の数値解析的検討
- P125 瀧本 浩史 (東工大院理工) 屋外および風洞における都市キャノピー流れのPIV計測
- P126 森脇 亮 (愛媛大工) 松山平野におけるヒートアイランドの実態
- P127 福原 ゆかり (首都大都市環境) 東京都心の大規模緑地がもたらす気温緩和効果—メソ気象モデルを用いて—
- P128 大久保 さゆり (首都大都市環境) 大気環境常時監視データによる国内のSPM (浮遊粒子状物質) 濃度の長期変動
- P129 工藤 玲 (気象研) つくばのエアロゾル光学特性と地上放射強制力の最近10年間の変化傾向
- P130 猪股 弥生 (気象研) つくばにおけるダスト沈着量の季節・年々変動: アジア大陸におけるダスト放出量変動との関連
- P131 高橋 宙 (気象研) 黄砂時における粗大エアロゾル粒子の混合状態と吸湿特性
- P132 財前 祐二 (気象研) 乾燥大気中における煤と硫酸塩の内部混合エアロゾル粒子
- P133 筈野 倫弘 (岡山理大総情) 岡山県牛窓における海水中二酸化炭素の測定— $p\text{CO}_2$ の季節変化—
- P134 小田 知宏 (環境研) 近畿地方を対象とした地域スケール $\text{CO}_2$ ソース/シンク推定: オイラー・ラグランジアン結合モデルを用いた領域外部からの貢献の考慮

- P135 佐伯 田鶴（環境研）高分解能全球輸送モデルを用いた大気中メタン濃度の数値実験
- P136 藤田 建（気象庁環境気象）気象庁二酸化炭素分布情報の提供
- P137 高瀬 健太郎（名大院環境）衛星観測・化学輸送モデルによる全球対流圏COの解析
- P138 詹 博硯（名大院環境）火山起源SO<sub>2</sub>の輸送経路及び化学過程の再現シミュレーション
- P139 渡辺 幸一（富山県立大学）ヘリコプターを利用した富山県上空の微量気体成分およびエアロゾル粒子個数濃度の観測
- P140 黒川 純一（環境研）日本の春季オゾン濃度年々変動に対する気象場の影響
- P141 佐伯 浩介（東北大院）FTIRを用いた南極昭和基地による2007年オゾンホール観測(2)
- P142 新藤 永樹（気象研）地球温暖化に伴う中緯度擾乱活動の変化について

## 大会第2日 [ 5月29日 (金) ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

[ キーワード:物質循環システム・大気境界層・気象予報・環境気象 他 ]

- P201 高橋 庸哉 (北教大札幌) 地球温暖化や雪の結晶を扱う小学生用ワークシートの開発
- P202 上野 健一 (筑波大院生命環境) CEOPつくばリファレンスサイトの開設
- P203 仲吉 信人 (東工大大院理工) ラグランジュアン人間気象学の提案
- P204 金久 博忠 (気象大) 重力波の鉛直伝播の解析解
- P205 板野 稔久 (防衛大地球海洋) 対称不安定における惑星渦度の水平成分の影響(その2)
- P206 高橋 桂子 (JAMSTEC) MSSGの移流計算精度と物理性能へのインパクト
- P207 近藤 圭一 (筑波大院生命環境) NICAM-LETKFに膨張係数および観測誤差の動的推定を適応したデータ同化実験
- P208 大矢 麻奈未 (筑波大自然科学類) WRFを用いた日本海沿岸の降雪シミュレーション:雲物理モデルの影響評価
- P209 中村 誠臣 (気象研) 関東域での夏季不安定降水のNHMによる再現性の評価 II
- P210 林 修吾 (気象研) 東南アジア域および日本域におけるNHMとWRF-ARWによる短期予報の統計的精度検証 水平解像度20kmモデルと1wayネストした5kmモデルでの結果
- P211 小山 博司 (北大院環境) EnKFを用いたパラメータ同化による1か月予報の精度向上
- P212 朝倉 利員 (NIFTS) 広範囲に適用できるサクラの新しい満開日予測法
- P213 蒲生 稔 (産総研) 中高緯度落葉樹林帯における葉のフェノロジーの水平・経年変化
- P214 Guangming Xue (岐阜大) 非静力学メソ気象モデルによる高山常緑針葉樹林サイト周辺の気流解析
- P215 石崎 紀子 (気象研) NHRCMを用いたフェーン現象の熱量解析
- P216 西川 将典 (名大院環境) 中国・黄土高原南部における日最大混合層高度の日々変化 - 総観場と積雲生成に着目して -
- P217 堀口 光章 (京大防災研) 大気境界層における乱流構造一つくばにおける観測の解析 -
- P218 萩野谷 成徳 (気象研) 館野の鉄塔データから推定した粗度長の長期変動
- P219 村上 雅則 (筑波大院生命環境) 夏季におけるAMeDASの気温観測値と観測点近傍における多点集中観測との比較
- P220 近藤 由美 (東工大院) 北米西南部チワワ砂漠における飛砂発生メカニズムのモデリング
- P221 糟谷 司 (富山大院理工) 中国・四国地方の夏季静穏日におけるGPS可降水量の日変化
- P222 久田 由紀子 (九大総理工) 福岡平野に生起する海風の特性
- P223 上地 孝佳 (九大院総理工) 福岡都市圏の海風侵入特性と土地利用形態の関係
- P224 中川 清隆 (立正大地球環境) 2008年通年観測結果に認められる夜間における埼玉県熊谷市の都市ヒートアイランド強度と郊外接地逆転強度の関係
- P225 大和 広明 (首都大都市環境) 夏季の南関東における海風と気温変化の関係
- P226 渡来 靖 (立正大地球環境科学) 細密土地利用データの作成とそれを利用した熊谷市街地ヒートアイランドの数値シミュレーションの試み
- P227 佐藤 昇 (大阪府教育センター) 大阪でのヒートアイランドの観測 (その2)
- P228 中山 智喜 (名大STE研) 二次有機エアロゾルはBrownCarbonとなりうるか?: 光学特性の実験的研究
- P229 中山 智喜 (名大STE研) 夏季東京都心におけるエアロゾル光学特性と化学特性の同時観測
- P230 日比野 真弓 (奈良女子大) リモートセンシングデータと直接サンプリングデータを用いた、黄砂観測時におけるエアロゾルの特徴
- P231 三浦 和彦 (東京理科大理) 富士山頂および太郎坊におけるエアロゾルの粒径分布と元素分析

- P232 松木 篤（金沢大学 フロンティアサイエンス機構）西アフリカ上空における大気エアロゾルの物理・化学的特性：2006年夏AMMA航空機集中観測から
- P233 村山 昌平（産総研）飛騨高山サイトにおける大気中ラドン及びCO<sub>2</sub>濃度の観測
- P234 長谷部 文雄（北大院地球環境）データ同化を利用した流跡線計算高精度化の試み
- P235 江口 菜穂（環境研）GOSAT 観測データ精度向上のための NIES 輸送モデル CO<sub>2</sub> データの検証
- P236 齊藤 誠（環境研）再解析降水量データの誤差と全球炭素収支の関係
- P237 古賀 聖治（産総研）ペルム紀末における硫化水素の大量放出に伴う大気酸素濃度の急減
- P238 鈴木 孝（福島大理工）地球システム統合モデルにおける陸域植生炭素循環サブモデルの評価
- P239 伊藤 和貴（気象庁環境気象）地上オゾン濃度予測への利用に向けた気象研究所化学気候モデルの検証
- P240 関谷 高志（名大院・環境学）全球対流圏オゾン分布の変動要因：気象場の変動が及ぼす影響の解析
- P241 田中 実（気象研）20世紀における日本付近の冬の気温とアリューシャン低気圧（PDO）・ENSOの関係
- P242 下瀬 健一（九大院理）現実場を用いた竜巻発生の数値シミュレーション Part II：大気摩擦層環境の重要性

## 大会第3日 [ 5月30日 (土) ] 11:00~12:00 ポスター・セッション

[ キーワード: 気候システム・降水システム・観測手法・熱帯大気 他 ]

- P301 高橋 庸哉 (北教大札幌) 鉛直過冷却雲風洞による樹枝状雪結晶成長のハイビジョン撮影
- P302 林 政彦 (福岡大理) -50~-80°C, 100Paで形成された微小氷晶の形態と成長
- P303 朽木 勝幸 (気象研) 分光アルベドを用いた積雪中黒色炭素・ダスト濃度の推定
- P304 額綱 丈晴 (名大地球水循環) 名大マルチパラメータレーダー観測データを用いた降水粒子判別の試行
- P305 遠藤 伸彦 (IORGC) 海洋大陸におけるAIRS可降水量とGPS可降水量の相互比較
- P306 佐藤 可織 (JAXA/EORC) 雲レーダ・ライダー/衛星観測データ及び気候モデルを用いた雲微物理特性の再現性に関する研究
- P307 増田 一彦 (気象研) ハイパースペクトル赤外サウンドとマイクロ波サウンドの複合利用
- P308 飯田 泰久 (JAXA EORC) TRMM衛星搭載降雨レーダで観測された月平均降雨量のサンプリングエラーを考慮した長期トレンドの検出
- P309 足立 アホロ (気象研) 1.3GHzウィンドプロファイラーによる雨滴粒径分布の抽出 (第2報)
- P310 高野 哲夫 (気象予報士会) 新潟県上越地方のフェーンに伴う高温域発生の数値シミュレーション-2008年05月04日09時の事例解析-
- P311 石田 祐宣 (弘前大院理工) 2007年に八甲田山系猿倉岳で発生した突風の発生原因推定
- P312 山崎 麻未 (高知大院) 多重竜巻内部の速度分布計測
- P313 田畑 弾 (日大・院・地球) 1979年~2008年7月の群馬県における降雹時の総観・メソ特性
- P314 道本 光一郎 (防衛大) 小松空港におけるドップラーレーダーによる突風事例解析
- P315 久田 由紀子 (九大総理工) 2003年7月19日に福岡で発生した豪雨の再現
- P316 篠田 太郎 (名大地球水循環) 2008年8月28~29日に愛知県周辺に激しい降水をもたらした降水システムの構造 ~ その1: マルチパラメータレーダを用いた解析結果 ~
- P317 加藤 雅也 (名大水循環) 2008年8月28~29日に愛知県周辺に激しい降水をもたらした降水システムの構造 ~ その2: 雲解像モデル CReSS を用いた解析結果 ~
- P318 枌本 英伍 (九大院理) 梅雨前線帯の低気圧の発達過程
- P319 西脇 夏樹 (筑波大院生命環境) 地形による降雨強度の増加とレーダーエコーの移動速度の関係
- P320 Prasamsa Singh (名大院環境) Diurnal Variation of Summer Precipitation over the Central Tibetan Plateau
- P321 足立 幸穂 (筑波大院生命環境) 東アジアにおける低気圧活動の経年変化
- P322 早崎 将光 (千葉大CEReS) 日本付近の低気圧活動の年々変動
- P323 根本 由紀子 (気象予報士会) 東京冬の気温と降水量の関係
- P324 川合 秀明 (気象庁気候情報) 海洋性境界層雲の鉛直積算雲水量の確率密度分布 Part I: 地理的変動、季節変化、及び決定気象要因
- P325 越田 智喜 (いであ) 渇水被害軽減のため、人工降雨の可能性のある雲の出現状況
- P326 釜堀 弘隆 (気象研) 2008年夏期循環場と南西諸島の少雨
- P327 永田 玲奈 (お茶大) 北太平洋高気圧の数十年規模変動と日本の気温との関係
- P328 福島 あずさ (首都大都市環境) インドにおける季節降水量の長期変動のその地域特性
- P329 山本 勝 (九大応力研) 海洋データ同化SSTを用いた日本海域の気象シミュレーション
- P330 遠藤 洋和 (気象研) CMIP3マルチモデルにおける熱帯対流圏上層の定在波とウォーカー循環の強さの関係
- P331 可知 美佐子 (JAXA/EORC) 衛星データの陸面水循環シミュレーション・システムにおける利用に向けて

- P332 松枝 未遠 (AESTO/MRI) 近未来気候実験における北半球冬季ブロッキング現象の出現頻度とその不確実性
- P333 村崎 万代 (気象研) SSTの高分解能化が日本域の気候再現実験に与える影響
- P334 保坂 征宏 (気象研) 陸面モデル HAL の開発
- P335 山浦 大和 (筑波大院生命環境) 陸面過程データセットを用いたモンゴル周辺域における陸面水収支の解明
- P336 中野 満寿男 (AESTO) 日本に接近する台風の将来変化
- P337 増山 啓 (東京海上研究所) 環境場データを用いた台風の発生・経路の推定について
- P338 吉田 龍二 (京大防災研) 台風発生の環境場とメソ対流系の併合の関係
- P339 柳瀬 亘 (東大気候システム) 台風Fengshen(2008)の発生過程のシミュレーション
- P340 岩崎 杉紀 (防衛大地球海洋) A-trainで観測された深い対流
- P341 鈴木 順子 (IORGC) MISO期間のインド洋上空にみられる赤道ケルビン波が背景場に与える影響
- P342 梅津 浩典 (九大院・理) Madden-Julian振動の中高緯度成層圏への影響

## 大会第4日 [ 5月31日 (日) ] 11:30~12:30 ポスター・セッション

[ キーワード: 気候システム・降水システム・観測手法・熱帯大気 他 ]

- P401 Jana Mendrok (NICT) Ice cloud observations by submillimeter limb sounder SMILES — a sensitivity study
- P402 斎藤 篤思 (気象研) ダム集水域における固形降水の精確な計量 (その2)
- P403 森谷 祐介 (京大生存研) イメージング・ウィンドプロファイラーの開発
- P404 稲飯 洋一 (北大環境科学) GPS高度データの利用によるラジオゾンデ気圧気温データの補正
- P405 田中 創 (気象協会) 高時間分解能リアルタイムGPS可降水量解析データを用いた降水ナウキャスト予測への利用可能性の検討
- P406 岩渕 弘信 (JAMSTEC) 光学観測のための放射伝達モデルJACOSPAR: (2) 赤外への拡張と計算効率の改良
- P407 佐藤 一敏 (NGS) RTNetを用いたリアルタイムGPS可降水量解析システムの構築と精度検証
- P408 柏浦 徹 (筑波大第一) 超音波積雪深計による草丈観測と熱収支変動
- P409 河合 克仁 (防衛大地球海洋) 庄内平野における降雪雲パターンと地上ガストの関係
- P410 嶋田 宇大 (北大環境) エネルギー収支と渦位から見た日本海Polar Lowの発達メカニズム
- P411 藤吉 康志 (北大低温研) 「オホーツク海沿岸帯状雲」のレーダーエコー特性 (1)
- P412 縄田 恵子 (筑波大自然科学類) WRFを用いた首都圏の降水シミュレーション —都市の降水へのインパクト調査—
- P413 道本 光一郎 (防衛大) 北関東における夏季雷雲の総合観測SKATE2008 (結果概要)
- P414 東 邦昭 (神大院理) 梅雨後期の近畿地方における線状降水帯形成に見られるマルチスケールの様相
- P415 宮川 知己 (東大気候システム) NICAMのMJO(2006年12月)事例におけるレインバンドの走向別分布およびレインバンドに伴う運動量輸送の解析
- P416 関 隆則 (気象予報士会) 強度・順位分布による降水パターンの検討
- P417 古川 悠也 (弘前大理工) クラスタ解析による梅雨前線帯(BFZ)と南大西洋収束帯(SACZ)の雲の研究
- P418 岡崎 麻佑 (東北大院理) 過去60年間の爆弾低気圧に関する統計
- P419 小柴 美香 (東北大院理) JRA-25/JCDASを用いた日本付近において急激に発達する温帯低気圧に関する長期解析
- P420 大塚 道子 (首都大都市環境) 区内観測降水量データを用いた日本中部における降水長期変動の解析
- P421 川合 秀明 (気象庁気候情報) 海洋性境界層雲の鉛直積算雲水量の確率密度分布 Part II: 総水混合比の関数形及び、降水過程・放射過程への影響
- P422 高橋 真司 (筑波大院生命環境) 夏季における北極低気圧と温帯・熱帯低気圧の力学的・統計的比較
- P423 金浜 貴史 (気象大) 日本に冷夏・暑夏をもたらす循環場の経年変動
- P424 岡山 仁 (富山大理) 夏季アジアモンスーン循環とエルニーニョ・南方振動の相互作用に見られる近年の特徴について
- P425 野津 雅人 (地球研) Improvement of daily gridded precipitation data using synoptic observation data over Iran
- P426 原田 やよい (CPD/JMA) 2009年1月から2月にかけて発生した北半球成層圏大規模突然昇温について (速報)
- P427 山中 吾郎 (気象研) 大気海洋結合モデルに対する海洋短波吸収スキームのインパクト
- P428 長屋 幸一 (富山大理) 気象庁1ヶ月アンサンブル予報ハインドキャストデータを用いた夏季日本の異常気象の予測可能性について
- P429 山田 洋平 (JAMSTEC/FRCGC) 全球雲解像モデルを用いた温暖化想定実験における熱帯低気圧の変化
- P430 高田 久美子 (JAMSTEC/FRCGC) 全球気候モデルにおける積雪サブグリッド被覆率スキームの改良

- P431 立入 郁 (FRCGC) GCMデータを利用した簡略気候モデルと陸域植生モデルの”緩やかな”結合
- P432 福井 秀典 (筑波大院生命環境) モンゴル半乾燥地域における陸面モデルの検証
- P433 紺屋 恵子 (IORGC) モンゴル・アルタイ、Potanin氷河周辺の気象条件 — 季節変動
- P434 吉野 純 (岐阜大院工) 台風強度に対する風の鉛直シアの影響に関する感度実験
- P435 仲江川 敏之 (気象研) JMA/MRI 結合モデル季節予測実験で再現された台風の気候値
- P436 北畠 尚子 (気象研) 台風0813号のアウトターバンドと其中上層の環境
- P437 山本 真之 (京大生存研) インドネシア・スマトラ島における下部対流圏の風速変動 — 赤道大気レーダーとNCEP/NCAR再解析データの比較—
- P438 山根 悠介 (次世代ユニット) バングラデシュにおける大気環境場の季節変化
- P439 江口 菜穂 (環境研) 2007年南半球突然昇温時の熱帯での絹雲・対流活動について
- P440 坂本 雅巳 (気象庁数値予報課) 気象庁現業全球4DVarでの観測誤差の推定
- P441 津田 敏隆 (京大生存研) Retrieval of High Vertical Resolution Atmospheric Profiles from GPS Radio Occultation Measurements
- P442 瀬古 弘 (気象研) Data assimilation experiments of 'YAMASE' using GPS RO data

## 講演者索引

## &lt; A &gt;

Adachi Ahoro ( 足立 アホロ ) P309  
 Adachi Sachiho ( 足立 幸穂 ) P321  
 Adachi Yukimasa ( 足立 恭将 ) C462  
 Aoki Teruo ( 青木 輝夫 ) D203  
 Aonashi Kazumasa ( 青梨 和正 ) A152  
 Aonashi Kazumasa ( 青梨 和正 ) C307  
 Arakane Sho ( 荒金 匠 ) A203  
 Asakura Toshikazu ( 朝倉 利員 ) P212  
 Asanuma Jun ( 浅沼 順 ) D151  
 Asuma Yoshio ( 遊馬 芳雄 ) A406

## &lt; B &gt;

Bessho Kotaro ( 別所 康太郎 ) B204

## &lt; C &gt;

Chan Poyen ( 詹 博硯 ) P138

## &lt; D &gt;

Daimon Yoshihiro ( 大門 禎広 ) P103

## &lt; E &gt;

Eguchi Nawo ( 江口 菜穂 ) P235  
 Eguchi Nawo ( 江口 菜穂 ) P439  
 Endo Hirokazu ( 遠藤 洋和 ) P330  
 Endo Nobuhiko ( 遠藤 伸彦 ) P305

## &lt; F &gt;

Fudeyasu Hironori ( 筆保 弘徳 ) D405  
 Fujibe Fumiaki ( 藤部 文昭 ) A102  
 Fujii Akira ( 藤井 聡 ) B306  
 Fujita Tatsuru ( 藤田 建 ) P136  
 Fujiwara Chusei ( 藤原 忠誠 ) C206  
 Fujiwara Chusei ( 藤原 忠誠 ) P121  
 Fujiyoshi Yasushi ( 藤吉 康志 ) P411  
 Fukuhara Yukari ( 福原 ゆかり ) P127  
 Fukui Hidenori ( 福井 秀典 ) P432  
 Fukushima Azusa ( 福島 あずさ ) P328  
 Furukawa Yuya ( 古川 悠也 ) P417  
 Furuzawa Fumie ( 古澤 文江 ) A158

## &lt; G &gt;

Gamo Minoru ( 蒲生 稔 ) P213

## &lt; H &gt;

Hagihara Yuichiro ( 萩原 雄一朗 ) D108  
 Haginoya Shigenori ( 萩野谷 成徳 ) P218  
 Harada Yayoi ( 原田 やよい ) P426  
 Hasebe Fumio ( 長谷部 文雄 ) P234  
 Hashimoto Akihiro ( 橋本 明弘 ) B406  
 Hayasaki Masamitsu ( 早崎 将光 ) P322  
 Hayashi Masahiko ( 林 政彦 ) P302  
 Hayashi Minoru ( 林 稔 ) B457  
 Hayashi Syugo ( 林 修吾 ) P210  
 Hibino Mayumi ( 日比野 真弓 ) P230

Higashi Kuniaki ( 東 邦昭 ) P414  
 Higuchi Kaz C151  
 Hioki Tomohito ( 日置 智仁 ) D407  
 Hiramatsu Akio ( 平松 章男 ) P102  
 Hirasawa Naohiko ( 平沢 尚彦 ) A156  
 Hirasawa Naohiko ( 平沢 尚彦 ) C101  
 Hirokawa Yasutaka ( 廣川 康隆 ) B106  
 Hirota Nagio ( 廣田 渚郎 ) C453  
 Hisada Yukiko ( 久田 由紀子 ) P222  
 Hisada Yukiko ( 久田 由紀子 ) P315  
 Hobiger Thomas B460  
 Horiguchi Mitsuaki ( 堀口 光章 ) P217  
 Hosaka Masahiro ( 保坂 征宏 ) P334  
 Hoshino Shunsuke ( 星野 俊介 ) A207  
 Hotta Daisuke ( 堀田 大介 ) A407

## &lt; I &gt;

Ichii Kazuhito ( 市井 和仁 ) D156  
 Ichikawa Hiroki ( 市川 裕樹 ) A304  
 Ichikawa Ryuichi ( 市川 隆一 ) B459  
 Igarashi Sakie ( 五十嵐 咲恵 ) P115  
 Iida Yasuhisa ( 飯田 泰久 ) P308  
 Iizawa Isao ( 飯澤 功 ) C404  
 Ikazaki Hideo ( 伊ヶ崎 英雄 ) B405  
 Ikeda Kohei ( 池田 恒平 ) A403  
 Imaki Masaharu ( 今城 勝治 ) D106  
 Inagaki Atsushi ( 稲垣 厚至 ) P120  
 Inai Yoichi ( 稲飯 洋一 ) P404  
 Inatsu Masaru ( 稲津 将 ) A408  
 Inomata Yayoi ( 猪股 弥生 ) P130  
 Inoue Hanako ( 猪上 華子 ) P113  
 Inoue Jun ( 猪上 淳 ) A107  
 Ise Takeshi ( 伊勢 武史 ) D155  
 Ishida Sachinobu ( 石田 祐宣 ) P311  
 Ishihara Masahito ( 石原 正仁 ) B157  
 Ishijima Kentaro ( 石島 健太郎 ) C157  
 Ishimoto Hiroshi ( 石元 裕史 ) D206  
 Ishizaki Noriko ( 石崎 紀子 ) P215  
 Ishizuka Masahide ( 石塚 正秀 ) C105  
 Itano Toshihisa ( 板野 稔久 ) P205  
 Ito Junshi ( 伊藤 純至 ) C207  
 Ito Kazuki ( 伊藤 和貴 ) P239  
 Ito Kosuke ( 伊藤 耕介 ) C308  
 Iwabuchi Hironobu ( 岩渕 弘信 ) P406  
 Iwai Hironori ( 岩井 宏徳 ) C204  
 Iwai Hironori ( 岩井 宏徳 ) D105  
 Iwasaki Hiroyuki ( 岩崎 博之 ) B151  
 Iwasaki Suginori ( 岩崎 杉紀 ) P340

## &lt; K &gt;

Kachi Misako ( 可知 美佐子 ) P331  
 Kadokura Shinji ( 門倉 真二 ) P112  
 Kaida Toshiki ( 海田 俊輝 ) C460  
 Kajino Mizuo ( 梶野 瑞王 ) D207  
 Kamahori Hirotaka ( 釜堀 弘隆 ) P326

Kanada Sachie ( 金田 幸恵 ) A303  
 Kanehama Takafumi ( 金浜 貴史 ) P423  
 Kanehisa Hirotada ( 金久 博忠 ) P104  
 Kanehisa Hirotada ( 金久 博忠 ) P204  
 Kaneyasu Naoki ( 兼保 直樹 ) D202  
 Kasai Yasuko ( 笠井 康子 ) A154  
 Kashiura Toru ( 柏浦 徹 ) P408  
 Kasuya Tsukasa ( 糟谷 司 ) P221  
 Kato Masaya ( 加藤 雅也 ) P317  
 Kato Teruyuki ( 加藤 輝之 ) B303  
 Kato Teruyuki ( 加藤 輝之 ) B304  
 Kato Yoriko ( 加藤 順子 ) B307  
 Kawabata Takuya ( 川畑 拓矢 ) B164  
 Kawabata Takuya ( 川畑 拓矢 ) B301  
 Kawai Hideaki ( 川合 秀明 ) P324  
 Kawai Hideaki ( 川合 秀明 ) P421  
 Kawai Katsuhito ( 河合 克仁 ) P409  
 Kawashima Masayuki ( 川島 正行 ) B103  
 Kayaba Nobuyuki ( 萱場 互起 ) A103  
 Kitabatake Naoko ( 北畠 尚子 ) P436  
 Kobayashi Fumiaki ( 小林 文明 ) B206  
 Kodama Yasumasa ( 児玉 安正 ) C208  
 Koga Seizi ( 古賀 聖治 ) P237  
 Koike Katsuyuki ( 小池 克征 ) B404  
 Komori Takuya ( 小森 拓也 ) C302  
 Kondo Keiichi ( 近藤 圭一 ) P105  
 Kondo Keiichi ( 近藤 圭一 ) P207  
 Kondo Yumi ( 近藤 由美 ) P220  
 Konya Keiko ( 紺屋 恵子 ) P433  
 Koshida Mika ( 小柴 美香 ) P419  
 Koshida Tomoki ( 越田 智喜 ) P325  
 Kouketsu Takeharu ( 纈纈 丈晴 ) P304  
 Koyama Hiroshi ( 小山 博司 ) P211  
 Kubota Takuji ( 久保田 拓志 ) A151  
 Kuchiki Katsuyuki ( 朽木 勝幸 ) P303  
 Kudo Rei ( 工藤 玲 ) P129  
 Kunii Masaru ( 國井 勝 ) B456  
 Kunii Masaru ( 國井 勝 ) C303  
 Kuo Ying-hwa B451  
 Kurihara Kazuo ( 栗原 和夫 ) C458  
 Kuroda Tohru ( 黒田 徹 ) A202  
 Kurokawa Junichi ( 黒川 純一 ) P140  
 Kurosaki Yasunori ( 黒崎 泰典 ) C106  
 Kusaka Hiroyuki ( 日下 博幸 ) B158  
 Kusunoki Kenichi ( 楠 研一 ) B201  
 Kusunoki Kenichi ( 楠 研一 ) B203  
 Kusunoki Shoji ( 楠 昌司 ) A302

## &lt; M &gt;

Mabuchi Kazuo ( 馬淵 和雄 ) D154  
 Machida Toshinobu ( 町田 敏暢 ) C153  
 Maki Masayuki ( 真木 雅之 ) B156  
 Maki Takashi ( 眞木 貴史 ) C161  
 Mase Hirofumi ( 間瀬 博文 ) P101  
 Mashiko Wataru ( 益子 渉 ) B202

- Masuda Kazuhiko ( 増田 一彦 ) P307  
 Masuyama Kei ( 増山 啓 ) P337  
 Matsueda Mio ( 松枝 未遠 ) C304  
 Matsueda Mio ( 松枝 未遠 ) P332  
 Matsui Hitoshi ( 松井 仁志 ) D208  
 Matsuki Atsushi ( 松木 篤 ) P232  
 Mega Tomoaki ( 妻鹿 友昭 ) D302  
 Mendrok Jana A166  
 Mendrok Jana P401  
 Michimoto Koichiro ( 道本 光一郎 ) P314  
 Michimoto Koichiro ( 道本 光一郎 ) P413  
 Mikami Masao ( 三上 正男 ) C108  
 Miura Kazuhiko ( 三浦 和彦 ) P231  
 Miyakawa Tomoki ( 宮川 知己 ) P415  
 Miyamoto Kengo ( 宮本 健吾 ) C301  
 Miyoshi Takemasa ( 三好 建正 ) C305  
 Mori Kazuhiro ( 森 和広 ) P109  
 Morikawa Yasuhiro ( 森川 靖大 ) A402  
 Moritani Yusuke ( 森谷 祐介 ) P403  
 Moriwaki Ryo ( 森脇 亮 ) P126  
 Munemoto Masaki ( 宗本 政紀 ) C461  
 Murakami Masanori ( 村上 雅則 ) P219  
 Murakami Masataka ( 村上 正隆 ) B401  
 Murakami Shigenori ( 村上 茂教 ) C466  
 Murata Akihiko ( 村田 昭彦 ) A205  
 Murayama Shohei ( 村山 昌平 ) P233  
 Murazaki Kazuyo ( 村崎 万代 ) P333
- < N >  
 Nagata Rena ( 永田 玲奈 ) P327  
 Nagaya Koichi ( 長屋 幸一 ) P428  
 Nakaegawa Tosiyuki ( 仲江川 敏之 ) P435  
 Nakagawa Kiyotaka ( 中川 清隆 ) P119  
 Nakagawa Kiyotaka ( 中川 清隆 ) P224  
 Nakai Sento ( 中井 専入 ) B101  
 Nakajima Hideaki ( 中島 英彰 ) D305  
 Nakamura Kenji ( 中村 健治 ) A165  
 Nakamura Masaomi ( 中村 誠臣 ) P209  
 Nakamura Miki ( 中村 美紀 ) C407  
 Nakano Fujiyuki ( 中野 藤之 ) B408  
 Nakano Masuo ( 中野 満寿男 ) P336  
 Nakano Tomoko ( 中野 智子 ) D152  
 Nakatsuka Takeshi ( 中塚 武 ) C464  
 Nakayama Hideaki ( 中山 秀晃 ) B153  
 Nakayama Tomoki ( 中山 智喜 ) P228  
 Nakayama Tomoki ( 中山 智喜 ) P229  
 Nakayoshi Makoto ( 仲吉 信人 ) P203  
 Nakazawa Takakiyo ( 中澤 高清 ) C152  
 Naoe Hiroaki ( 直江 寛明 ) D205  
 Nasuno Tomoe ( 那須野 智江 ) A201  
 Nawata Keiko ( 縄田 恵子 ) P412  
 Nemoto Yukiko ( 根本 由紀子 ) P323  
 Ninomiya Kozo ( 二宮 洗三 ) A301  
 Nishi Noriyuki ( 西 憲敬 ) B454  
 Nishii Kazuaki ( 西井 和晃 ) A305  
 Nishikawa Masanori ( 西川 将典 ) P216  
 Nishimoto Eriko ( 西本 絵梨子 ) D301  
 Nishimura Yashiro ( 西村 八代 ) D304  
 Nishiwaki Natsuki ( 西脇 夏樹 ) P319
- Niwa Yosuke ( 丹羽 洋介 ) C155  
 Niwa Yosuke ( 丹羽 洋介 ) C159  
 Niwano Masashi ( 庭野 匡思 ) D153  
 Nodzu Masato I. ( 野津 雅人 ) P425  
 Nonaka Yoshimasa ( 野中 善政 ) P111
- < O >  
 Oda Ryoko ( 小田 僚子 ) P124  
 Oda Tomohiro ( 小田 知宏 ) P134  
 Ohashi Yukitaka ( 大橋 唯太 ) A104  
 Ohashi Yukitaka ( 大橋 唯太 ) C408  
 Ohigashi Tadayasu ( 大東 忠保 ) B102  
 Oh'izumi Mitsuo ( 大泉 三津夫 ) P107  
 Ohno Yuichi ( 大野 裕一 ) A153  
 Ohta Yoichiro ( 太田 洋一郎 ) D402  
 Ohya Manami ( 大矢 麻奈未 ) P208  
 Oikawa Eiji ( 及川 栄治 ) D210  
 Okamoto Hajime ( 岡本 創 ) A160  
 Okayama Jin ( 岡山 仁 ) P424  
 Okazaki Mayu ( 岡崎 麻佑 ) P418  
 Oku Yuichiro ( 奥 勇一郎 ) B107  
 Okubo Sayuri ( 大久保 さゆり ) P128  
 Onishi Masanori ( 大西 将徳 ) C405  
 Ono Hiroshi ( 大野 洋 ) C203  
 Osada Kazuo ( 長田 和雄 ) C102  
 Oshima Kazuhiro ( 大島 和裕 ) A306  
 Oshima Naga ( 大島 長 ) D204  
 Otsuka Michiko ( 大塚 道子 ) P420  
 Ozawa Eiji ( 小澤 英司 ) B455
- < P >  
 Patra Prabir C160
- < R >  
 Rikiishi Kunio ( 力石 國男 ) A101
- < S >  
 Saeki Kosuke ( 佐伯 浩介 ) P141  
 Saeki Tazu ( 佐伯 田鶴 ) P135  
 Saito Atsushi ( 齋藤 篤思 ) P402  
 Saito Hitoshi ( 齋藤 仁 ) B154  
 Saito Kazuo ( 齊藤 和雄 ) B159  
 Saito Makoto ( 齊藤 誠 ) P236  
 Saito Yoichi ( 齊藤 洋一 ) A401  
 Sakai Satoshi ( 酒井 敏 ) C406  
 Sakamoto Masami ( 坂本 雅巳 ) P440  
 Sakashita Koji ( 坂下 幸嗣 ) C451  
 Sampe Takeaki ( 三瓶 岳昭 ) C454  
 Sano Atsuko ( 佐野 亜都子 ) P123  
 Sato Kaori ( 佐藤 可織 ) P306  
 Sato Kazutoshi ( 佐藤 一敏 ) P407  
 Sato Noboru ( 佐藤 昇 ) P227  
 Satoh Masaki ( 佐藤 正樹 ) A162  
 Satoh Shinsuke ( 佐藤 晋介 ) C205  
 Sawa Yousuke ( 澤 庸介 ) C154  
 Sawada Masahiro ( 沢田 雅洋 ) P117  
 Seino Naoko ( 清野 直子 ) P118  
 Seki Takanori ( 関 隆則 ) P416  
 Sekiya Takashi ( 関谷 高志 ) P240
- Seko Hiromu ( 瀬古 弘 ) B161  
 Seko Hiromu ( 瀬古 弘 ) P442  
 Seto Yoshihito ( 瀬戸 芳一 ) P122  
 Shi Rui ( 石 睿 ) C201  
 Shibata Yukiko ( 柴田 有紀子 ) P116  
 Shige Shoichi ( 重 尚一 ) A164  
 Shigeta Yoshinori ( 重田 祥範 ) C401  
 Shigeta Yoshinori ( 重田 祥範 ) C402  
 Shimada Udai ( 嶋田 宇大 ) P410  
 Shimose Ken-ichi ( 下瀬 健一 ) B208  
 Shimose Ken-ichi ( 下瀬 健一 ) P242  
 Shindo Eiki ( 新藤 永樹 ) P142  
 Shinoda Masato ( 篠田 雅人 ) C107  
 Shinoda Taro ( 篠田 太郎 ) D103  
 Shinoda Taro ( 篠田 太郎 ) P316  
 Shiogama Hideo ( 塩竈 秀夫 ) A307  
 Shoji Yoshinori ( 小司 禎教 ) B152  
 Shoji Yoshinori ( 小司 禎教 ) B453  
 Shusse Yukari ( 出世 ゆかり ) D409  
 Singh Prasamsa P320  
 Sudou Kengo ( 須藤 健悟 ) D209  
 Sugi Masato ( 杉 正人 ) D403  
 Suzuki Junko ( 鈴木 順子 ) D303  
 Suzuki Junko ( 鈴木 順子 ) P341  
 Suzuki Kazue ( 鈴木 香寿恵 ) A106  
 Suzuki Osamu ( 鈴木 修 ) B207  
 Suzuki Takashi ( 鈴木 孝 ) P238
- < T >  
 Tabata Dan ( 田畑 弾 ) B104  
 Tabata Dan ( 田畑 弾 ) P313  
 Tachibana Yoshihiro ( 立花 義裕 ) C452  
 Tachiiri Kaoru ( 立入 郁 ) P431  
 Taguchi Shoichi ( 田口 彰一 ) C162  
 Tajiri Takuya ( 田尻 拓也 ) B403  
 Takagi Masahiro ( 高木 征弘 ) A404  
 Takahashi Hideo ( 高橋 日出男 ) B155  
 Takahashi Hiroshi ( 高橋 宙 ) P131  
 Takahashi Kazuyuki ( 高橋 一之 ) C403  
 Takahashi Keiko ( 高橋 桂子 ) P106  
 Takahashi Keiko ( 高橋 桂子 ) P206  
 Takahashi Nobuhiro ( 高橋 暢宏 ) A161  
 Takahashi Shinji ( 高橋 真司 ) P422  
 Takahashi Tsuneya ( 高橋 庸哉 ) P201  
 Takahashi Tsuneya ( 高橋 庸哉 ) P301  
 Takano Tetsuo ( 高野 哲夫 ) P310  
 Takase Kentaro ( 高瀬 健太郎 ) P137  
 Takata Kumiko ( 高田 久美子 ) P430  
 Takayabu Yukari ( 高薮 縁 ) A159  
 Takemi Tetsuya ( 竹見 哲也 ) B162  
 Takemi Tetsuya ( 竹見 哲也 ) B302  
 Takimoto Hiroshi ( 瀧本 浩史 ) P125  
 Tanaka Hiroshi ( 田中 博 ) C306  
 Tanaka Hiroshi ( 田中 博 ) P110  
 Tanaka Minoru ( 田中 実 ) P241  
 Tanaka Sou ( 田中 創 ) P405  
 Taniwaki Kazuhiro ( 谷脇 和博 ) B205  
 Terao Toru ( 寺尾 徹 ) C409  
 Terasaki Koji ( 寺崎 康児 ) P108

- |                              |      |                              |      |
|------------------------------|------|------------------------------|------|
| Tochmoto Eigo ( 栃本 英伍 )      | P318 | Yatagai Akiyo ( 谷田貝 亜紀代 )    | C459 |
| Tomano Michihiro ( 苫野 倫弘 )   | P133 | Yoshida Kenji ( 吉田 健二 )      | D408 |
| Tomikawa Yoshihiro ( 富川 喜弘 ) | D306 | Yoshida Ryuji ( 吉田 龍二 )      | P338 |
| Tsuchiya Chikara ( 土屋 主税 )   | A410 | Yoshikawa Eiichi ( 吉川 栄一 )   | B105 |
| Tsuda Toshitaka ( 津田 敏隆 )    | P441 | Yoshikawa Tomoaki ( 吉川 友章 )  | B409 |
| Tsuguchi Hiroshige ( 津口 裕茂 ) | B160 | Yoshimori Masakazu ( 吉森 正和 ) | C465 |
| Tsuruta Haruo ( 鶴田 治雄 )      | D201 | Yoshimoto Koichi ( 吉本 浩一 )   | B458 |
| < U >                        |      |                              |      |
| Uchino Osamu ( 内野 修 )        | D107 | Yoshimura Hiromasa ( 吉村 裕正 ) | C463 |
| Uechi Takayoshi ( 上地 孝佳 )    | P223 | Yoshino Jun ( 吉野 純 )         | A206 |
| Ueda Sayako ( 上田 紗也子 )       | C104 | Yoshino Jun ( 吉野 純 )         | P434 |
| Ueno Kenichi ( 上野 健一 )       | P202 | Yoshizaki Masanori ( 吉崎 正憲 ) | A209 |
| Ueno Mitsuru ( 上野 充 )        | A208 | < Z >                        |      |
| Ujiie Masashi ( 氏家 将志 )      | B163 | Zaizen Yuji ( 財前 祐二 )        | P132 |
| Umezawa Taku ( 梅澤 拓 )        | C156 | Zhang Daizhou ( 張 代洲 )       | C103 |
| Umezu Hironori ( 梅津 浩典 )     | P342 |                              |      |
| Ushio Tomoo ( 牛尾 知雄 )        | A163 |                              |      |
| Ushio Tomoo ( 牛尾 知雄 )        | D101 |                              |      |
| Ushiyama Tomoki ( 牛山 朋来 )    | C202 |                              |      |
| < W >                        |      |                              |      |
| Wada Akiyoshi ( 和田 章義 )      | D406 |                              |      |
| Watanabe Akira ( 渡邊 明 )      | B305 |                              |      |
| Watanabe Koichi ( 渡辺 幸一 )    | P139 |                              |      |
| Watanabe Masahiro ( 渡部 雅浩 )  | C455 |                              |      |
| Watanabe Takanori ( 渡辺 貴典 )  | P114 |                              |      |
| Watarai Yasushi ( 渡来 靖 )     | P226 |                              |      |
| Wickert Jens                 | B452 |                              |      |
| < X >                        |      |                              |      |
| Xue Guangming                | P214 |                              |      |
| < Y >                        |      |                              |      |
| Yagai Isamu ( 谷貝 勇 )         | C456 |                              |      |
| Yamada Hiroyuki ( 山田 広幸 )    | A204 |                              |      |
| Yamada Yoshinori ( 山田 芳則 )   | B407 |                              |      |
| Yamada Yoshinori ( 山田 芳則 )   | D104 |                              |      |
| Yamada Youhei ( 山田 洋平 )      | P429 |                              |      |
| Yamamoto Masaru ( 山本 勝 )     | P329 |                              |      |
| Yamamoto Masayuki ( 山本 真之 )  | P437 |                              |      |
| Yamamoto Munchisa ( 山本 宗尚 )  | A157 |                              |      |
| Yamanaka Goro ( 山中 吾郎 )      | P427 |                              |      |
| Yamanaka Manabu ( 山中 大学 )    | A155 |                              |      |
| Yamane Yusuke ( 山根 悠介 )      | P438 |                              |      |
| Yamano Mitsuo ( 山野 満男 )      | C209 |                              |      |
| Yamanouchi Akiko ( 山内 明子 )   | A105 |                              |      |
| Yamasaki Asami ( 山崎 麻未 )     | P312 |                              |      |
| Yamasaki Masanori ( 山岬 正紀 )  | D404 |                              |      |
| Yamashima Ryoji ( 山島 亮二 )    | C457 |                              |      |
| Yamashita Katsuya ( 山下 克也 )  | B402 |                              |      |
| Yamashita Koji ( 山下 浩史 )     | D401 |                              |      |
| Yamashita Tatsuya ( 山下 達也 )  | A405 |                              |      |
| Yamato Hiroaki ( 大和 広明 )     | P225 |                              |      |
| Yamauchi Hiroshi ( 山内 洋 )    | D102 |                              |      |
| Yamaura Yamato ( 山浦 大和 )     | P335 |                              |      |
| Yamazaki Akira ( 山崎 哲 )      | A409 |                              |      |
| Yanase Wataru ( 柳瀬 亘 )       | P339 |                              |      |
| Yashiro Hisashi ( 八代 尚 )     | C158 |                              |      |